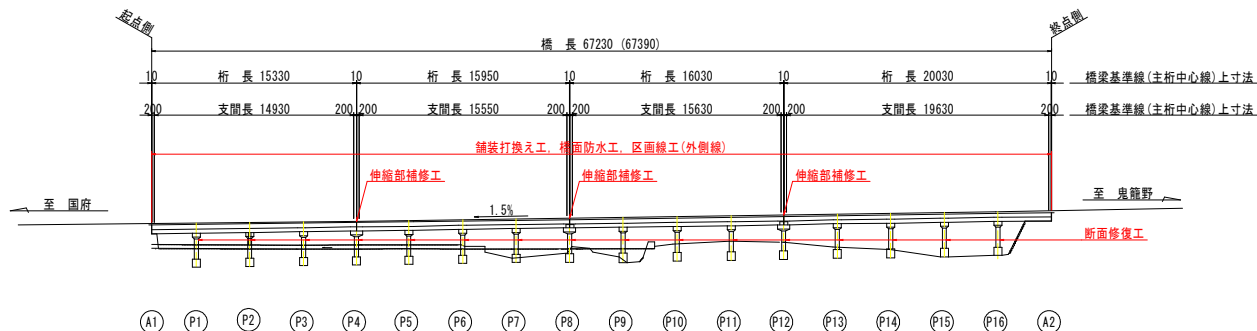




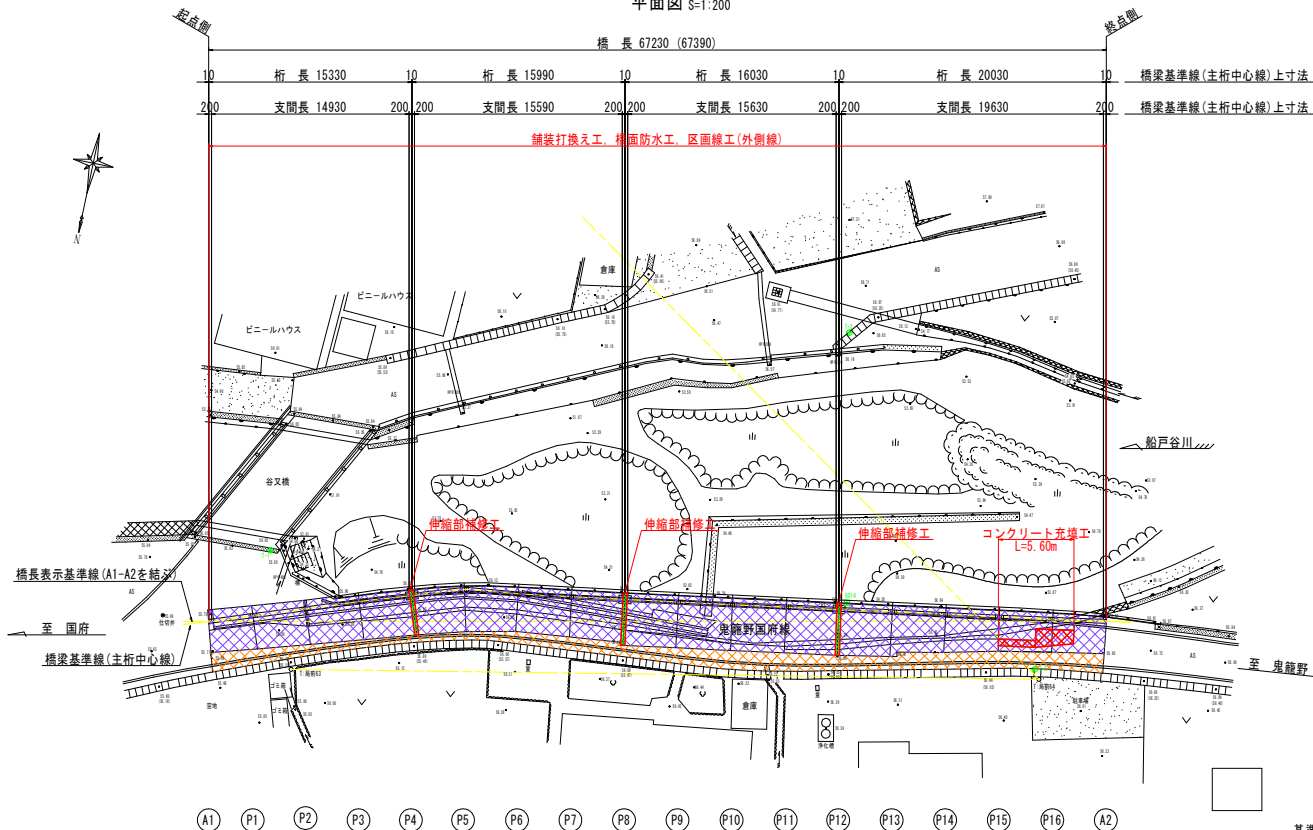
# 南丁棧道橋 補修計画一般図

側面図 S=1:200

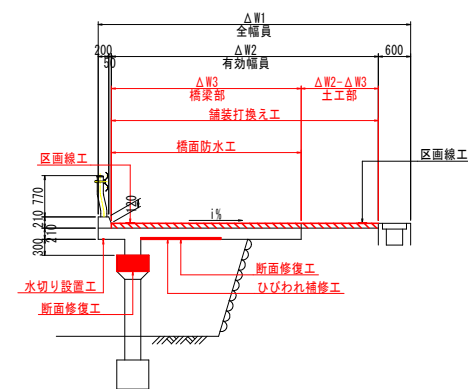


DL=45.000

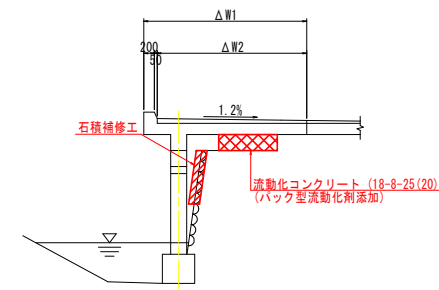
平面図 S=1:200



断面図 S=1:50



石積補修詳細図 S=1:50



南丁棧道橋 補修計画概要一覧表

補修箇所	名称	仕様	備考
橋面工	舗装打換え工	アスファルト舗装	橋面、土工部
	橋面防水工	塗膜系防水層	橋面
	区画線工	溶解式区画線（外側線）	橋面
	伸縮部補修工	高機能止水材	P4, P8, P12
上部工	断面修復工	左官工法	主桁、床版
	ひび割れ補修工	低圧注入工法	主桁
	水切り設置工	あと施工型（軟質PVC）	張出部、床版部
下部工	断面修復工	左官工法	橋脚
	ひび割れ補修工	低圧注入工法	橋脚
その他	石積擁壁補修工	コンクリート充填工	山側石積擁壁

【実施設計図面】

工事名	R8橋工 鬼籠野国府線（南丁棧道橋） 第一号 橋梁修繕工事（企画）		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	橋島市一宮町（南丁棧道橋）		
図面名	南丁棧道橋 補修計画一般図		
縮尺	指示	図面番号	2 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	橋島県土整備事務所		

基準点成果表

測点名	X座標	Y座標	Z座標
T-1 (BM-1)	500.000	500.000	55.524
T-2	496.921	442.164	56.507
T-3 (BM-2)	475.111	460.948	56.645
橋島県5014	494.953	456.954	56.535

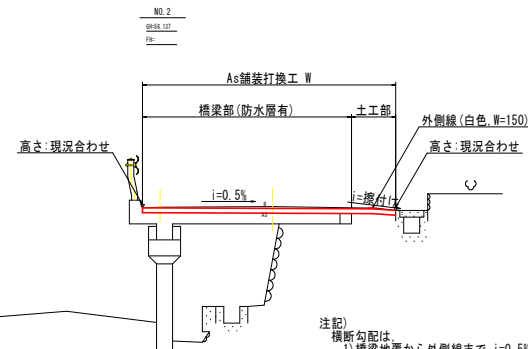
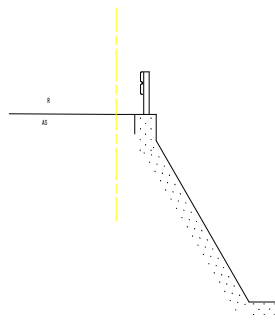
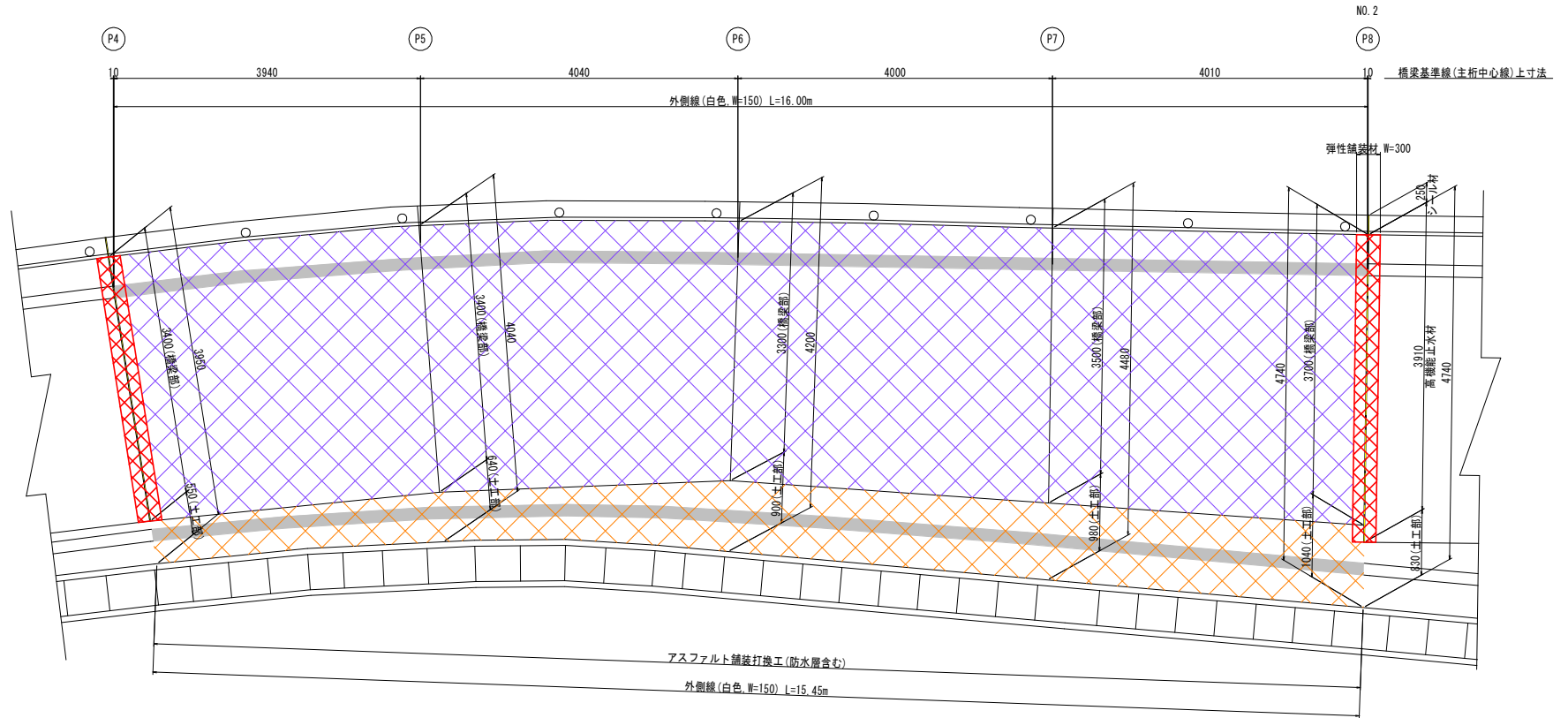
図例：車道舗装（橋梁部）、車道舗装（土工部）、伸縮部補修工、区画線工



# 南丁棧道橋 橋面補修詳細図 (2/5)

## 第5~8径間 補修図

平面図(橋面) S=1:30



DL=52.000

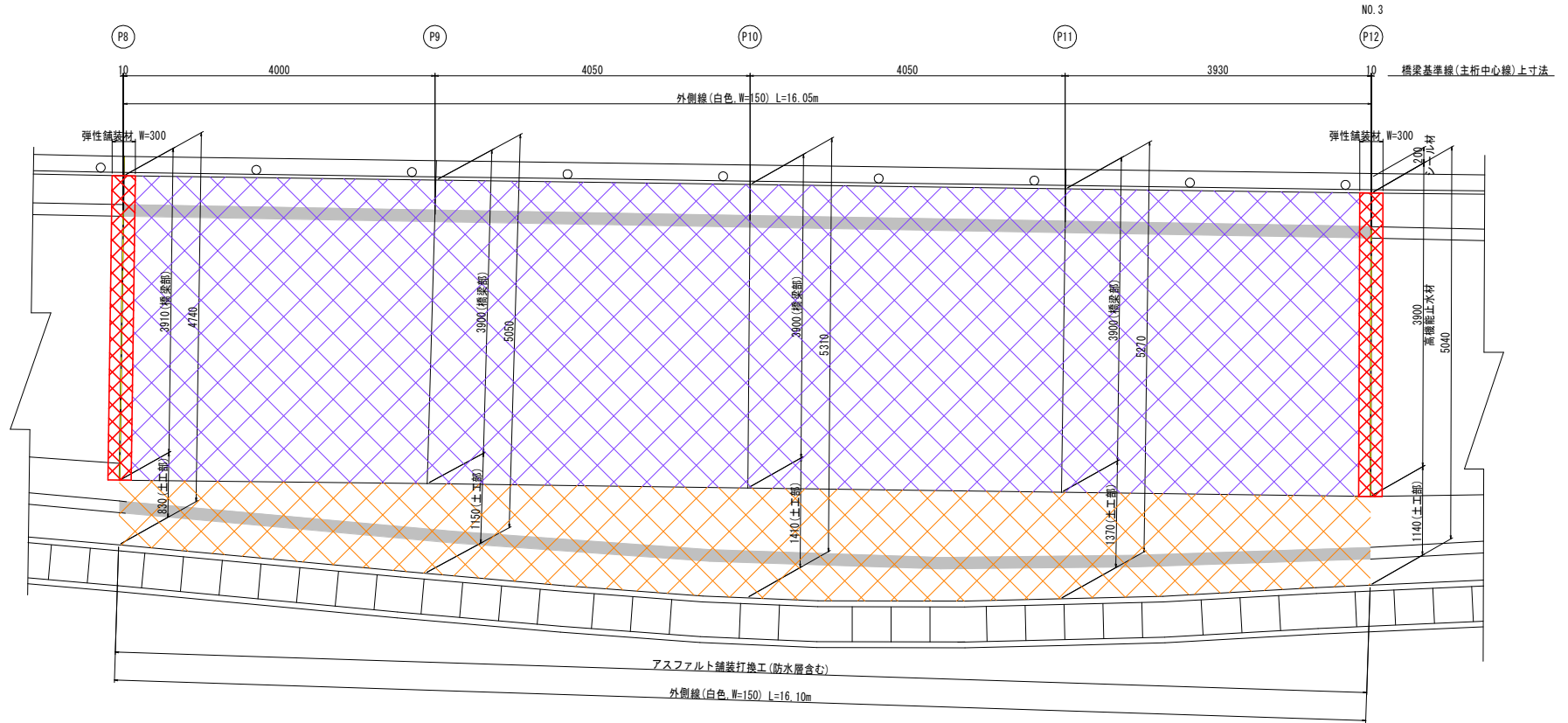
### 【実施設計図面】

工事名	R8修土 角籠野原河線(南丁棧道橋) 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	角籠野原河線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 橋面補修詳細図(2/5)		
縮尺	図示	図面番号	4 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

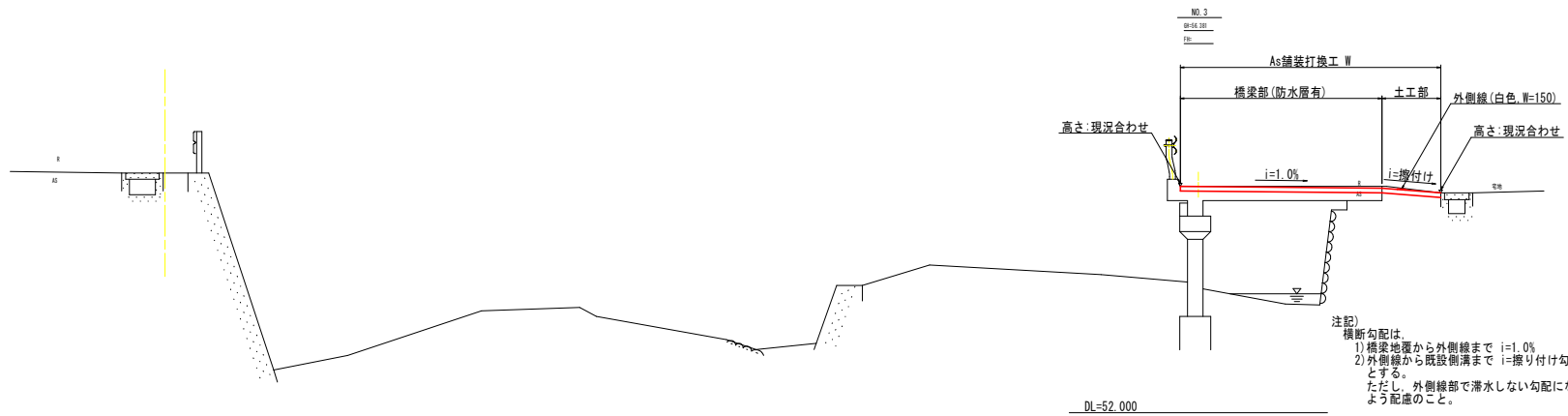
# 南丁棧道橋 橋面補修詳細図(3/5)

## 第9~12径間 補修図

平面図(橋面) S=1:30



横断図 S=1:50



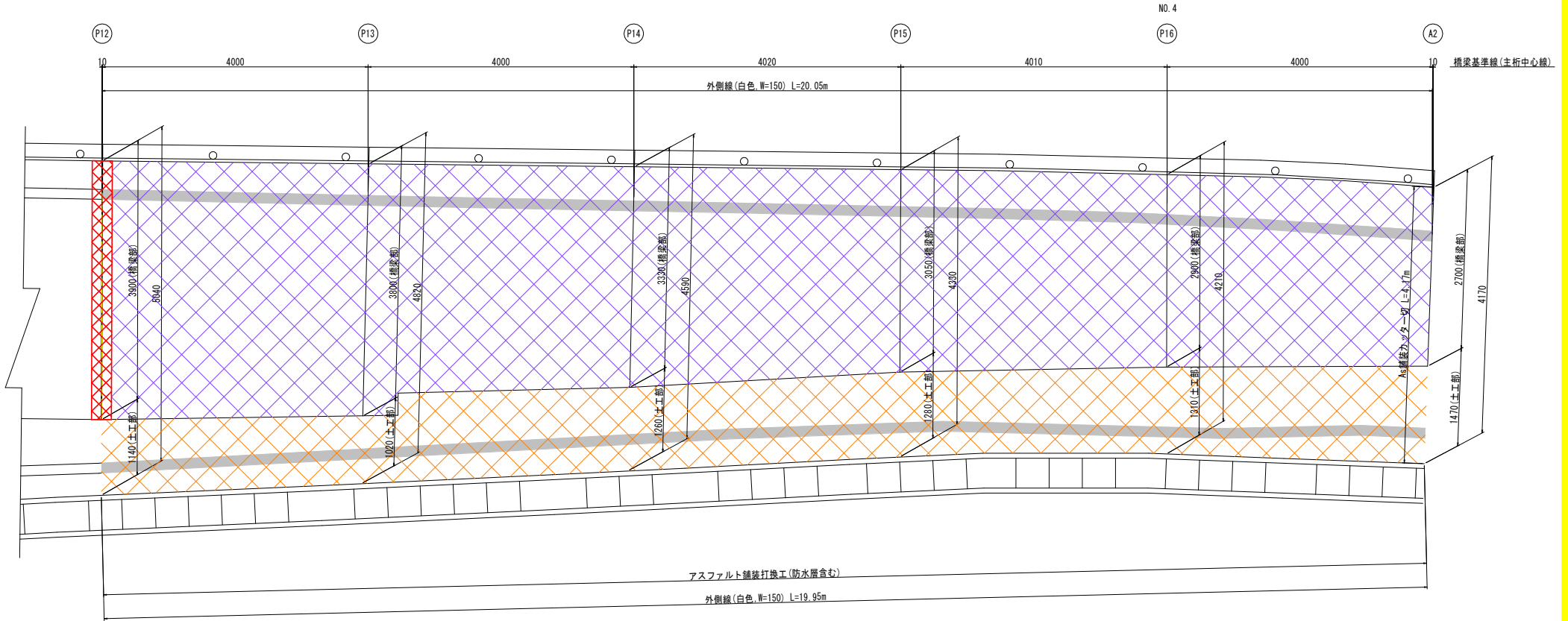
### 【実施設計図面】

工事名	R8修土 尾籠野原幹線(雨丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	尾籠野原幹線		
工事箇所	橋島市一宮町(雨丁棧道橋)		
図面名	雨丁棧道橋 橋面補修詳細図(3/5)		
縮尺	図示	図面番号	5 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

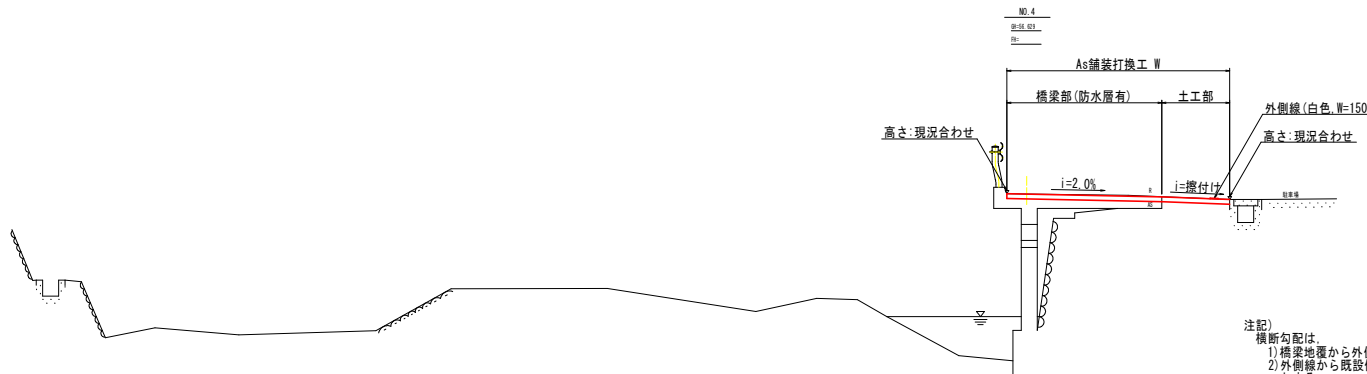
# 南丁棧道橋 橋面補修詳細図 (4/5)

## 第13~17径間 補修図

平面図(橋面) S=1:30



横断面 S=1:50



注記  
横断勾配は、  
1)橋梁地盤から外側線まで  $i=2.0\%$   
2)外側線から既設削溝まで  $i=撥付け$ 勾配とする。  
ただし、外側線部で滞水しない勾配になるよう配慮のこと。

### 【実施設計図面】

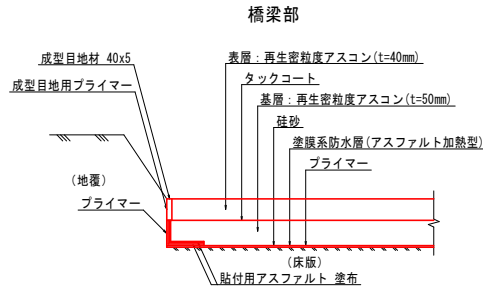
工事名	R8橋土 尾鷲野原幹線(南丁棧道橋) 橋一宮 橋梁補修工事(企画)		
路線名等	尾鷲野原幹線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図名	南丁棧道橋 橋面補修詳細図(4/5)		
縮尺	図示	図面番号	6 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

DL=52.000

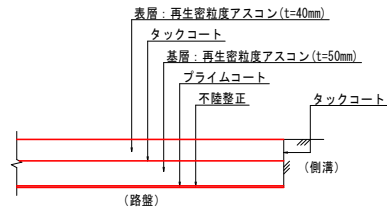
# 南丁棧道橋 橋面補修詳細図 (5/5)

## 構造図 共通図

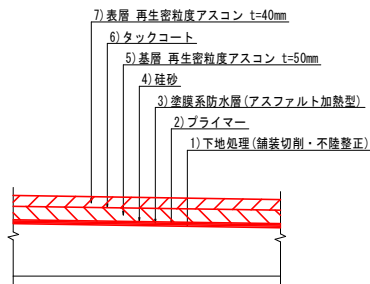
地覆部構造図 S=1:5



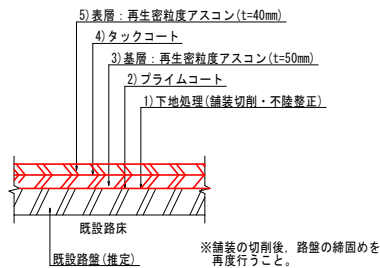
土工部



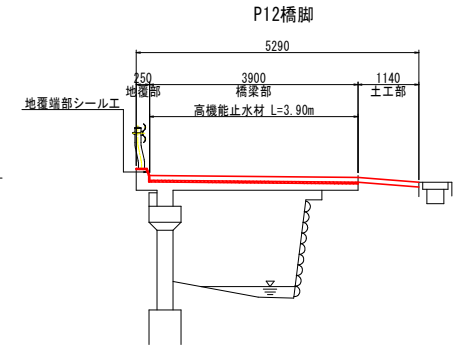
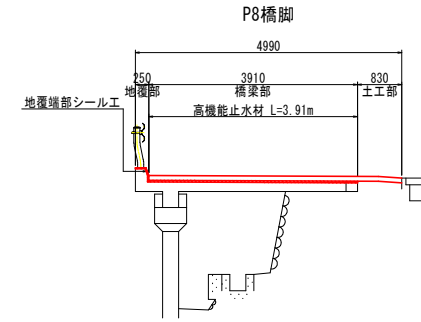
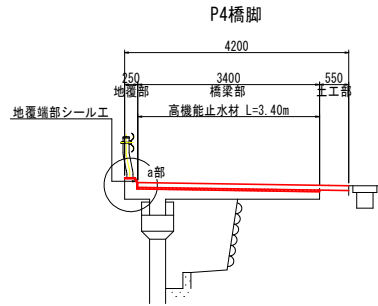
橋面舗装構成図 S=1:10



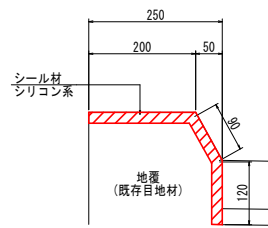
土工部舗装構成図 S=1:10



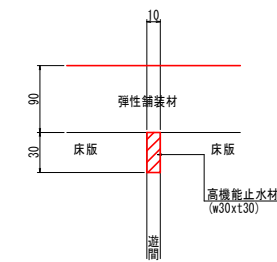
伸縮部構造図 S=1:50



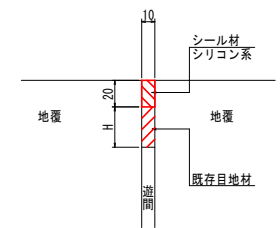
a部詳細図 S=1:5



高性能止水材詳細図 S=1:2



地覆端部シール工 S=1:2



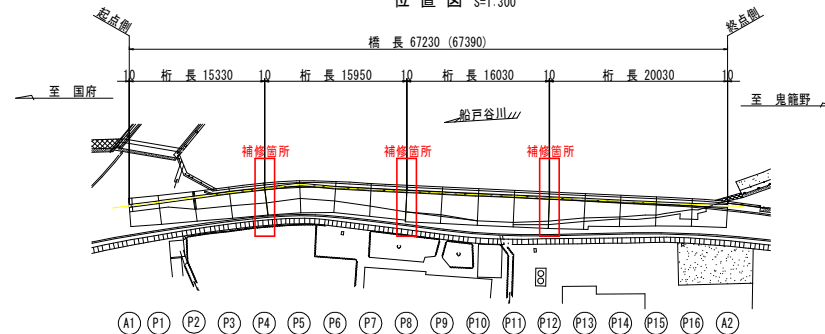
数量表

名称	規格	単位	P4	P8	P12	合計
シール材	シリコン系	L	0.08	0.08	0.08	0.24
高性能止水材	10mm用 (W30×T30)	m	3.40	3.91	3.90	11.15
弾性舗装材	高耐久現場加熱型	m <sup>3</sup>	0.09	0.11	0.11	0.31

注記)

1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は、現場実測後決定すること。

位置図 S=1:300

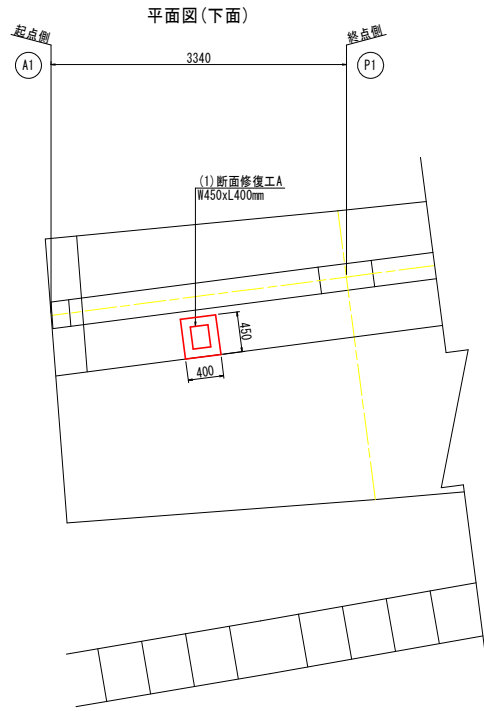


【実施設計図面】

工事名	R8修工 尾鷲野道路橋 (雨丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事 (企画)		
路線名等	尾鷲野道路橋		
工事箇所	橋梁第一区雨丁棧道橋 (現橋)		
図面名	雨丁棧道橋 橋面修繕詳細図 (5/5)		
縮尺	図示	図面番号	7 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県工務事務所		

南丁棧道橋 上部工補修詳細図(1/19) S=1:30

第1径間 補修図



第1径間 断面修復工:A(左置工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m <sup>3</sup> )	備考
(1)	0.45	0.40	0.04	0.007	床版下面
(2)	0.54	0.40	0.04	0.009	G1主桁張出部
(3)	0.32	0.40	0.04	0.005	〃
合計				0.021	

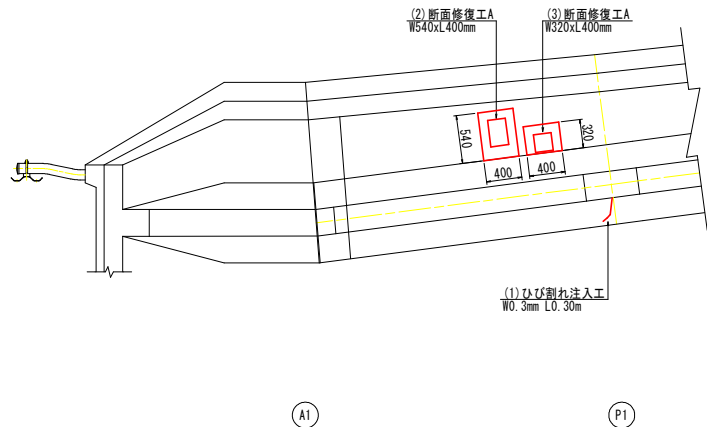
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第1径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

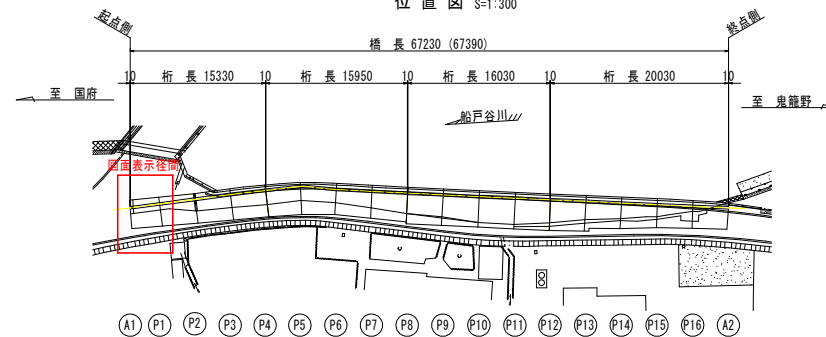
番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.30	0.30	0.05	0.005	G1主桁側面
合計				0.005	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

主桁展開図



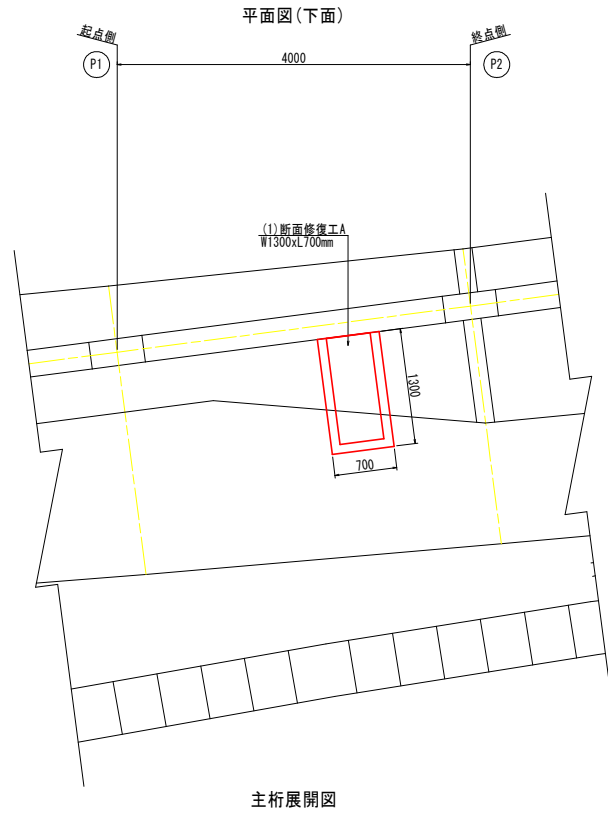
位置図 S=1:300



【実施設計図面】

工事名	R8修土 泉籠野国府線(南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	泉籠野国府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(1/19)		
縮尺	図示	図面番号	8 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

第2径間 補修図



第2径間 断面修復工:A(左置工法)

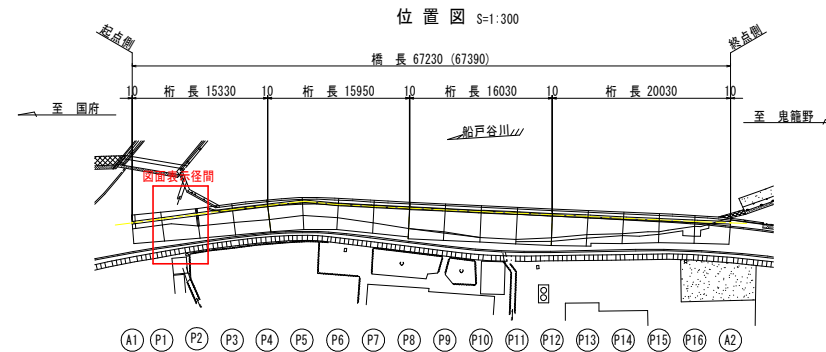
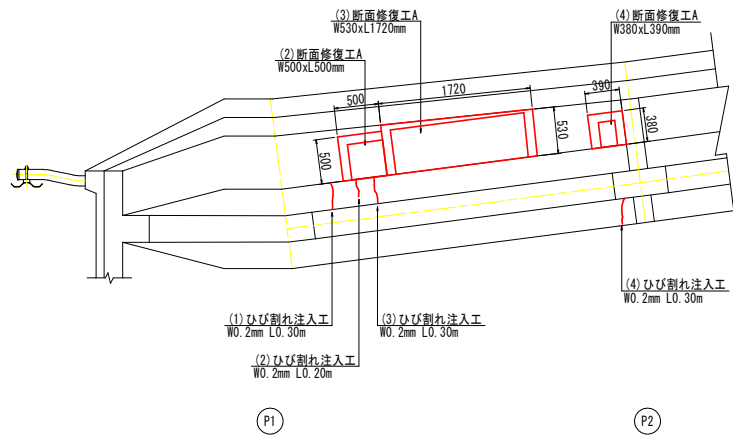
番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m <sup>3</sup> )	備考
(1)	1.30	0.70	0.04	0.036	
(2)	0.50	0.50	0.04	0.010	G1主桁張出部
(3)	0.53	1.72	0.04	0.036	"
(4)	0.38	0.39	0.04	0.006	"
			合計	0.088	

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第2径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.20	0.30	0.05	0.004	G1主桁側面
(2)	0.20	0.20	0.05	0.002	"
(3)	0.20	0.30	0.05	0.004	"
(4)	0.20	0.30	0.05	0.004	"
			合計	0.014	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

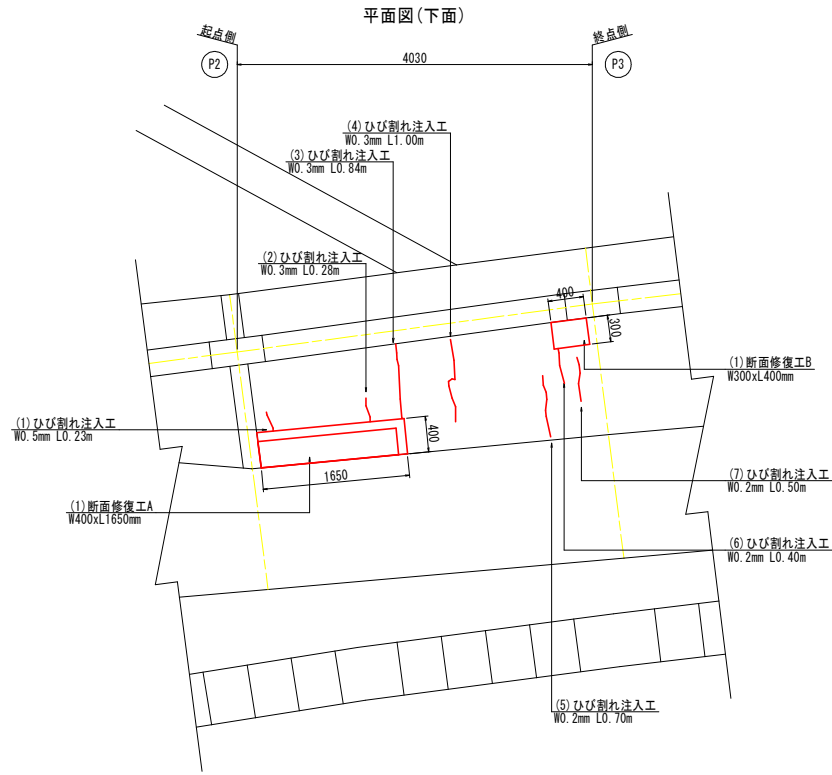


【実施設計図面】

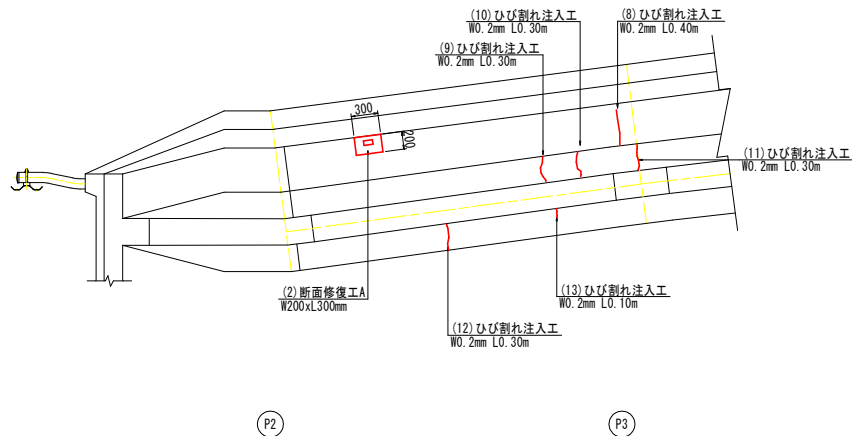
工事名	R8修土 泉龍野河川橋(南丁棧道橋) 第一号 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	泉龍野河川橋		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(2/19)		
縮尺	図示	図面番号	9 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

南丁棧道橋 上部工補修詳細図(3/19) S=1:30

第3径間 補修図



主桁展開図



第3径間 断面修復工:A(左置工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m <sup>3</sup> )	備考
(1)	0.40	1.65	0.04	0.026	床版下面
(2)	0.20	0.30	0.04	0.002	G1主桁張出部
			合計	0.028	

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第3径間 断面修復工:B(豆板補修)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m <sup>3</sup> )	備考
(1)	0.30	0.40	0.03	0.004	床版下面
			合計	0.004	

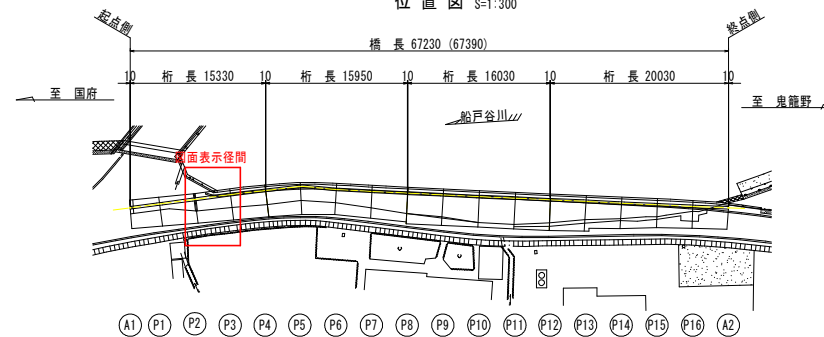
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第3径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.50	0.23	0.04	0.006	床版下面
(2)	0.30	0.28	0.04	0.004	"
(3)	0.30	0.84	0.04	0.012	"
(4)	0.30	1.00	0.04	0.014	"
(5)	0.20	0.70	0.04	0.007	"
(6)	0.20	0.40	0.04	0.004	"
(7)	0.20	0.50	0.04	0.005	"
(8)	0.20	0.40	0.04	0.004	G1主桁張出部
(9)	0.20	0.30	0.05	0.004	G1主桁側面
(10)	0.20	0.30	0.05	0.004	"
(11)	0.20	0.30	0.05	0.004	"
(12)	0.20	0.30	0.05	0.004	"
(13)	0.20	0.10	0.05	0.001	"
			合計	0.073	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:300

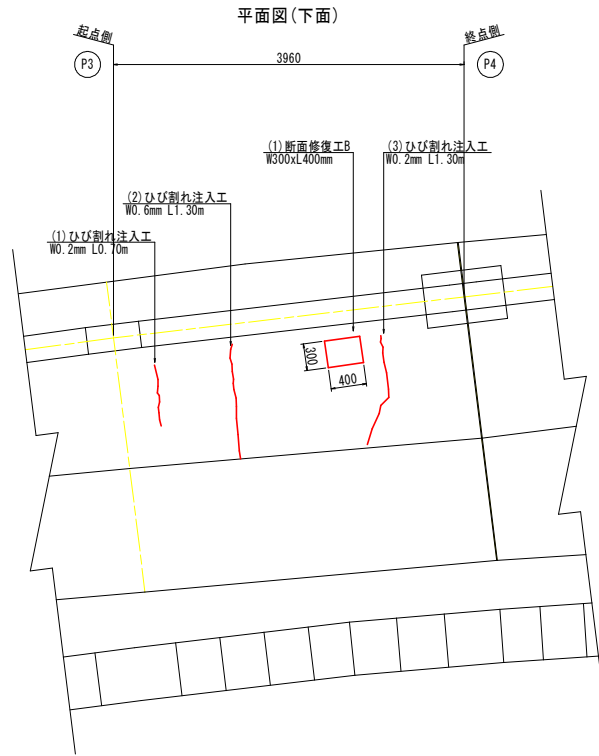


【実施設計図面】

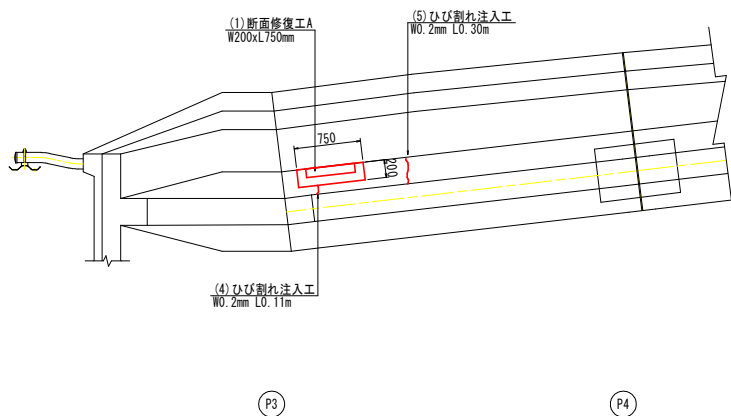
工事名	R8修土 鹿籠野国府線(南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	鹿籠野国府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(3/19)		
縮尺	図示	図面番号	10 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土木整備事務所		

南丁棧道橋 上部工補修詳細図(4/19) S=1:30

第4径間 補修図



主桁展開図



第4径間 断面修復工:A(左置工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.20	0.75	0.05	0.008	G1主桁側面
			合計	0.008	

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第4径間 断面修復工:B(豆板補修)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.30	0.40	0.03	0.004	床版下面
			合計	0.004	

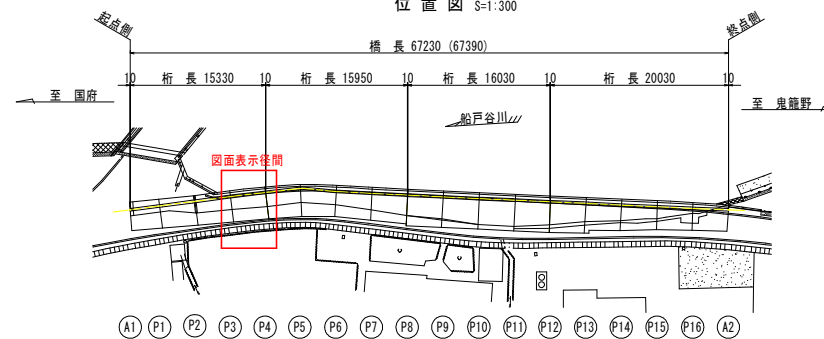
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第4径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.20	0.70	0.04	0.007	床版下面
(2)	0.60	1.30	0.04	0.037	"
(3)	0.20	1.30	0.04	0.012	"
(4)	0.20	0.11	0.05	0.001	G1主桁側面
(5)	0.20	0.30	0.05	0.004	"
			合計	0.061	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

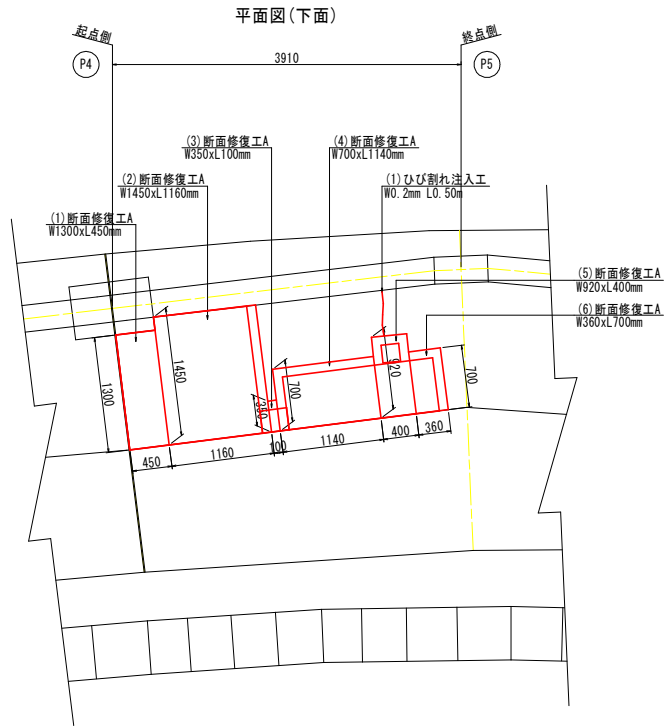
位置図 S=1:300



【実施設計図面】

工事名	R8橋士 泉籠野国府線(雨丁棧道橋) 第一号 橋梁修繕工事(全席)		
路線名等	泉籠野国府線		
工事箇所	徳島市一宮町(雨丁棧道橋)		
図面名	雨丁棧道橋 上部工補修詳細図(4/19)		
縮尺	図示	図面番号	11 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県士監修事務所		

第5径間 補修図



第5径間 断面修復工:A(左置工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m <sup>3</sup> )	備考
(1)	1.30	0.45	0.04	0.023	床版下面
(2)	1.45	1.16	0.04	0.067	"
(3)	0.35	0.10	0.04	0.001	"
(4)	0.70	1.14	0.04	0.032	"
(5)	0.92	0.40	0.04	0.015	"
(6)	0.70	0.36	0.04	0.010	"
(7)	0.45	0.86	0.04	0.015	G1主桁張出部
(8)	0.37	1.20	0.04	0.018	"
(9)	0.30	0.43	0.05	0.006	G1主桁側面
(10)	0.30	0.40	0.05	0.006	"
合計				0.193	

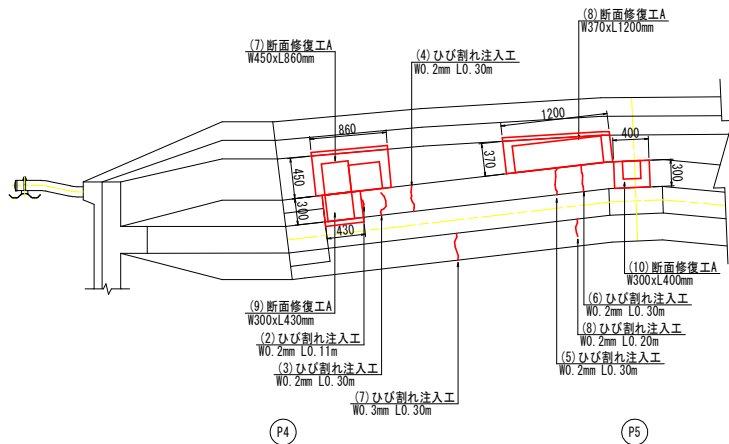
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第5径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

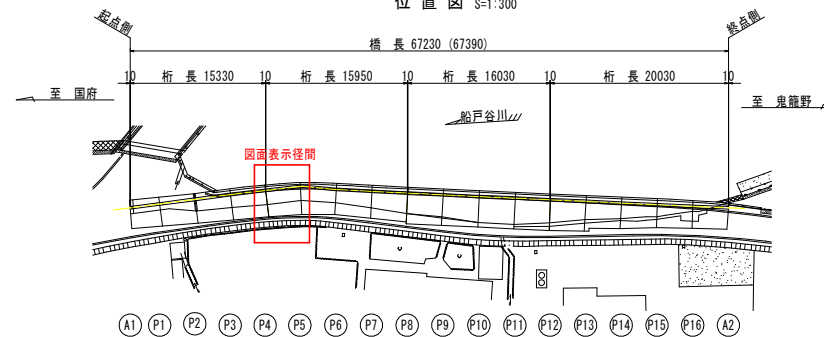
番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.20	0.50	0.04	0.005	床版下面
(2)	0.20	0.11	0.05	0.001	G1主桁側面
(3)	0.20	0.30	0.05	0.004	"
(4)	0.20	0.30	0.05	0.004	"
(5)	0.20	0.30	0.05	0.004	"
(6)	0.20	0.30	0.05	0.004	"
(7)	0.30	0.30	0.05	0.005	"
(8)	0.20	0.20	0.05	0.002	"
合計				0.029	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

主桁展開図



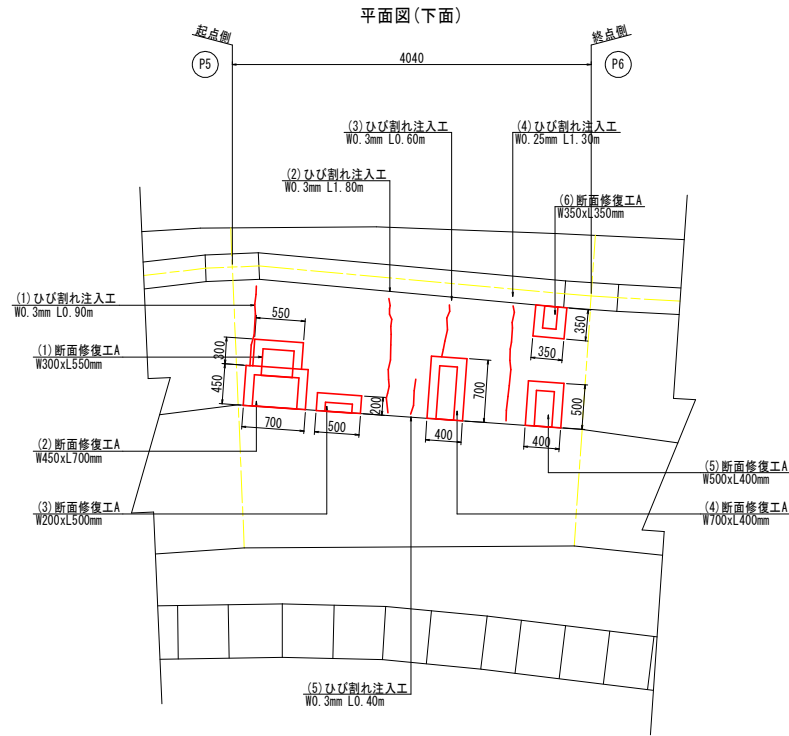
位置図 S=1:300



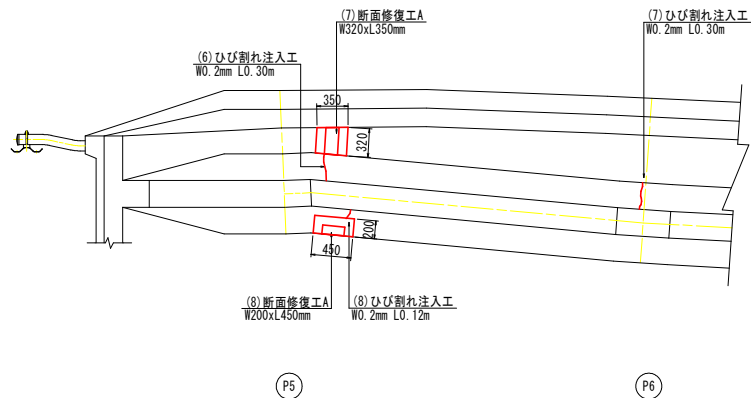
【実施設計図面】

工事名	R8修士 尾鷲野国府線(南丁棧道橋) 第一号 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	尾鷲野国府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(5/19)		
縮尺	図示	図面番号	12 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土木整備事務所		

第6径間 補修図



主桁展開図



第6径間 断面修復工:A(左置工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.30	0.55	0.04	0.007	床版下面
(2)	0.45	0.70	0.04	0.013	"
(3)	0.20	0.50	0.04	0.004	"
(4)	0.70	0.40	0.04	0.011	"
(5)	0.50	0.40	0.04	0.008	"
(6)	0.35	0.35	0.04	0.005	"
(7)	0.32	0.35	0.04	0.004	G1主桁張出部
(8)	0.20	0.45	0.05	0.005	G1主桁側面
			合計	0.057	

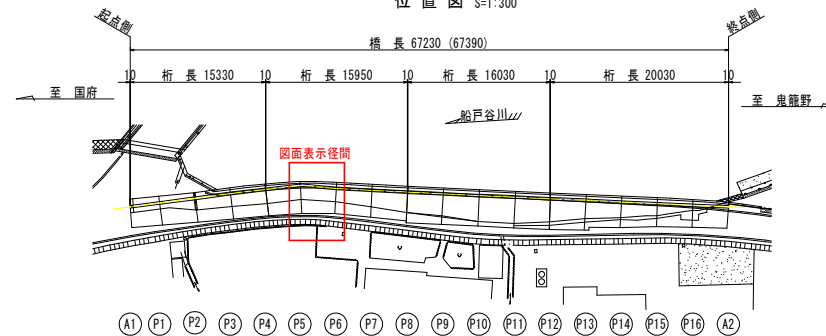
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第6径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.30	0.90	0.04	0.013	床版下面
(2)	0.30	1.80	0.04	0.026	"
(3)	0.30	0.60	0.04	0.009	"
(4)	0.25	1.30	0.04	0.016	"
(5)	0.30	0.40	0.04	0.006	"
(6)	0.20	0.30	0.05	0.004	G1主桁側面
(7)	0.20	0.30	0.05	0.004	"
(8)	0.20	0.12	0.05	0.001	"
			合計	0.079	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:300



【実施設計図面】

工事名	R8修土 奥籠野河原(雨下橋道橋) 第一号 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	奥籠野河原線		
工事箇所	徳島市一宮町(雨下橋道橋)		
図面名	雨下橋道橋 上部工補修詳細図(6/19)		
縮尺	図示	図面番号	13 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

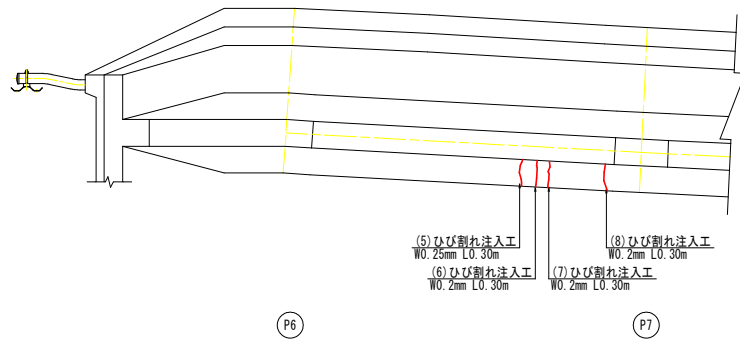
南丁棧道橋 上部工補修詳細図(7/19) S=1:30

第7径間 補修図

平面図(下面)



主桁展開図



第7径間 断面修復工A(左置工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.25	0.30	0.04	0.003	床版下面
(2)	0.55	0.10	0.04	0.001	床版下面※
(3)	0.55	0.14	0.04	0.002	〃
(4)	1.12	0.30	0.04	0.013	床版下面
(5)	0.55	0.20	0.04	0.004	〃
(6)	0.40	0.40	0.04	0.006	〃
合計				0.029	

※は、A=幅×長さ×1/2

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第7径間 断面修復工B(豆板補修)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.50	0.50	0.03	0.008	床版下面
合計				0.008	

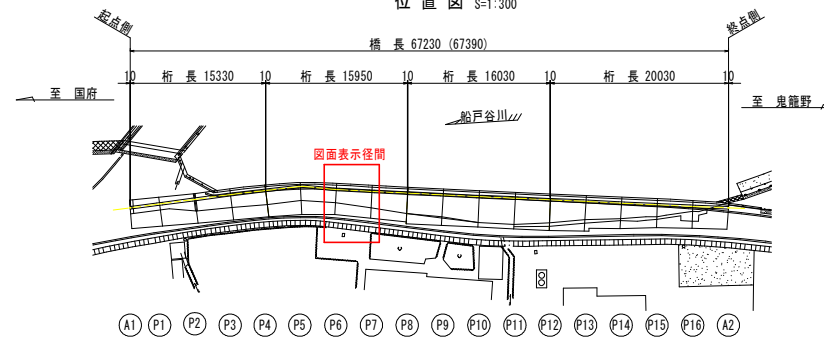
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第7径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.25	1.30	0.04	0.016	床版下面
(2)	0.25	1.30	0.04	0.016	〃
(3)	0.25	1.30	0.04	0.016	〃
(4)	0.60	1.00	0.04	0.029	〃
(5)	0.25	0.30	0.05	0.005	G1主桁側面
(6)	0.20	0.30	0.05	0.004	〃
(7)	0.20	0.30	0.05	0.004	〃
(8)	0.20	0.30	0.05	0.004	〃
合計				0.094	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

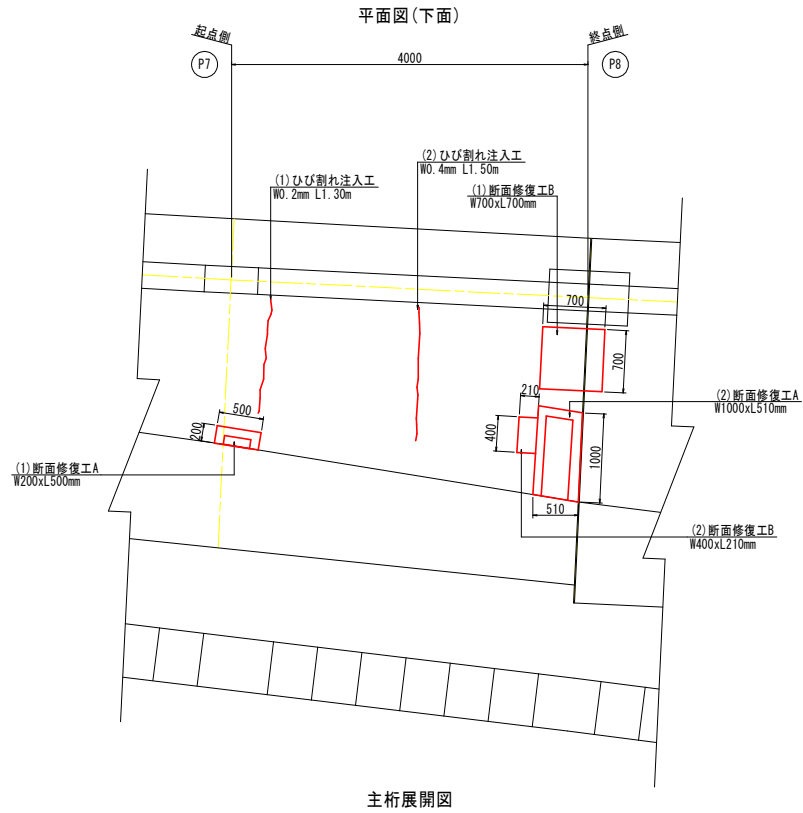
位置図 S=1:300



【実施設計図面】

工事名	R8修土 鹿籠野河原線(南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	鹿籠野河原線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(7/19)		
縮尺	図示	図面番号	14 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

第8径間 補修図



第8径間 断面修復工:A(左翼工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m <sup>3</sup> )	備考
(1)	0.20	0.50	0.04	0.004	床版下面
(2)	1.00	0.51	0.04	0.020	"
合計				0.024	

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第8径間 断面修復工:B(豆板補修)

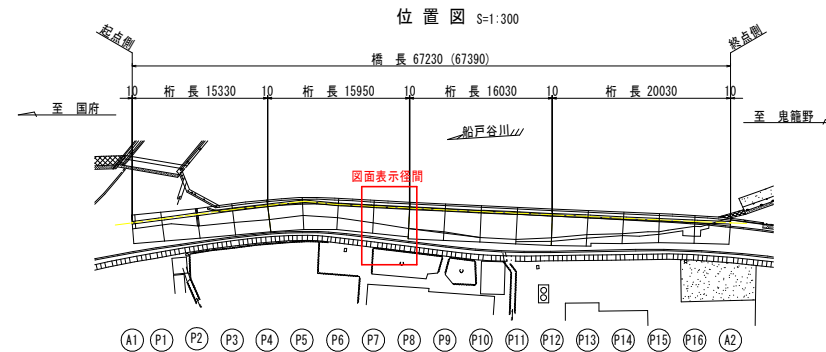
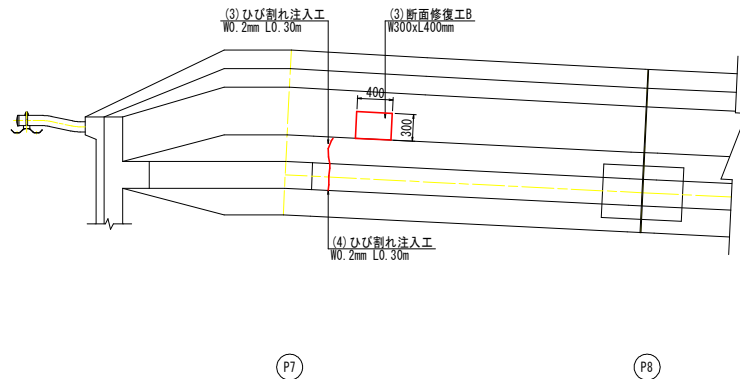
番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m <sup>3</sup> )	備考
(1)	0.70	0.70	0.03	0.015	床版下面
(2)	0.40	0.21	0.03	0.003	"
(3)	0.30	0.40	0.03	0.004	G1主桁張出部
合計				0.022	

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第8径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.20	1.30	0.04	0.012	床版下面
(2)	0.40	1.50	0.04	0.029	"
(3)	0.20	0.30	0.05	0.004	G1主桁側面
(4)	0.20	0.30	0.05	0.004	G1主桁下面
合計				0.049	

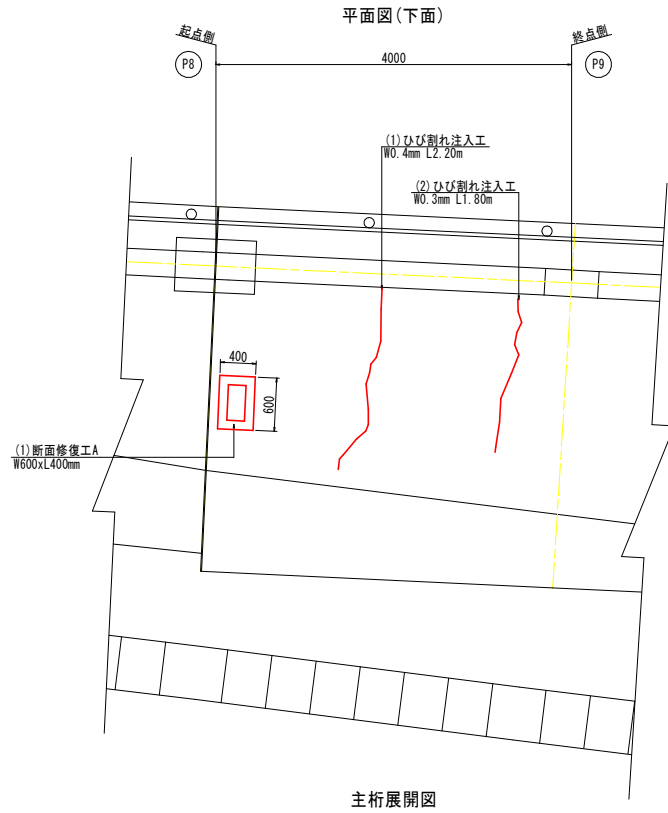
注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。



【実施設計図面】

工事名	R8修工 泉籠野国府線(南丁棧道橋) 第一号 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	泉籠野国府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(8/19)		
縮尺	図示	図面番号	15 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

第9径間 補修図



第9径間 断面修復工:A(左置工法)

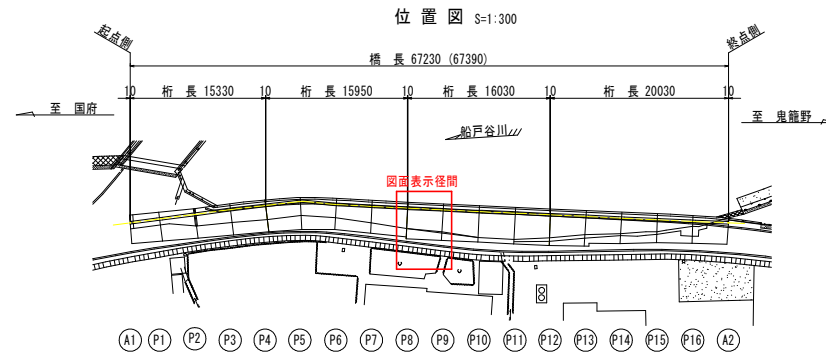
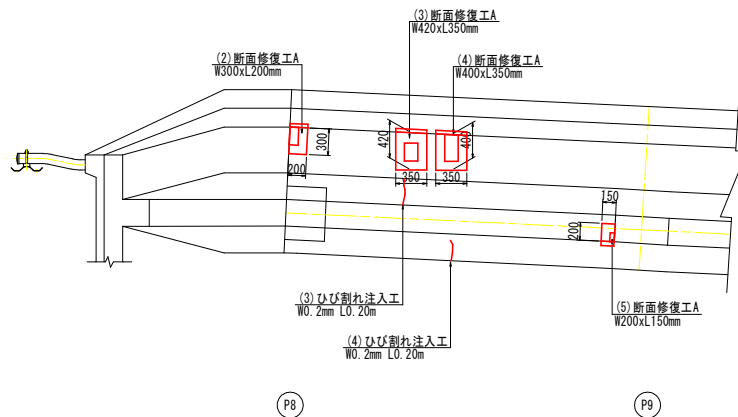
番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m <sup>3</sup> )	備考
(1)	0.60	0.40	0.04	0.010	
(2)	0.30	0.20	0.04	0.002	G1主桁張出部
(3)	0.42	0.35	0.04	0.006	"
(4)	0.40	0.35	0.04	0.006	"
(5)	0.20	0.15	0.05	0.002	G1主桁下面
			合計	0.026	

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第9径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	40	2.20	0.04	0.042	床版下面
(2)	30	1.80	0.04	0.026	"
(3)	20	0.20	0.05	0.002	G1主桁側面
(4)	20	0.20	0.05	0.002	"
			合計	0.072	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

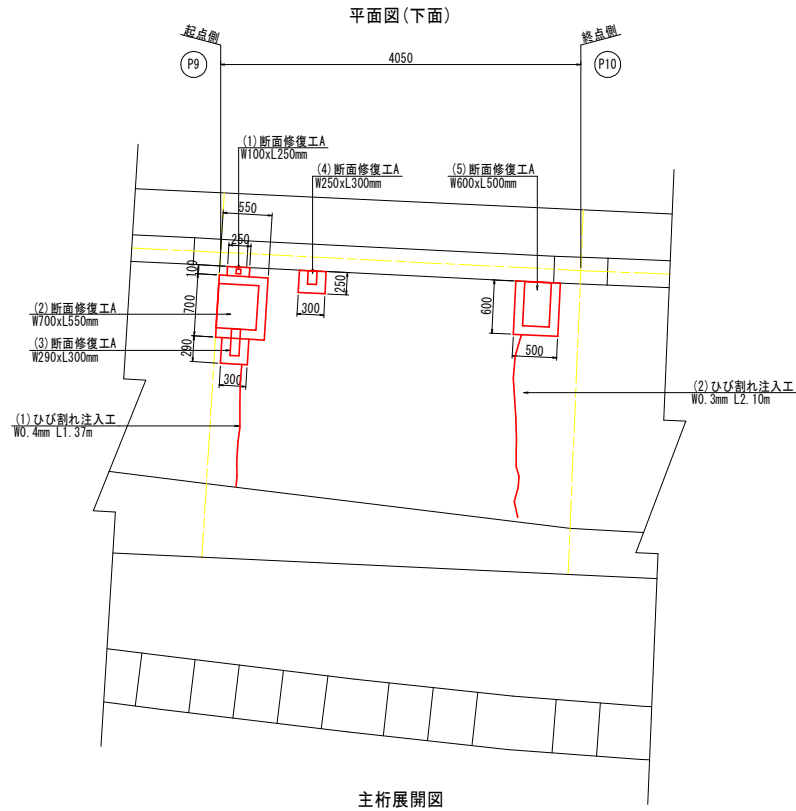


【実施設計図面】

工事名	R8修土 丸籠野面府線(南丁棧道橋) 第一号 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	丸籠野面府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(9/19)		
縮尺	図示	図面番号	16 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

南丁棧道橋 上部工補修詳細図(10/19) S=1:30

第10径間 補修図



第10径間 断面修復工:A(左官工法)

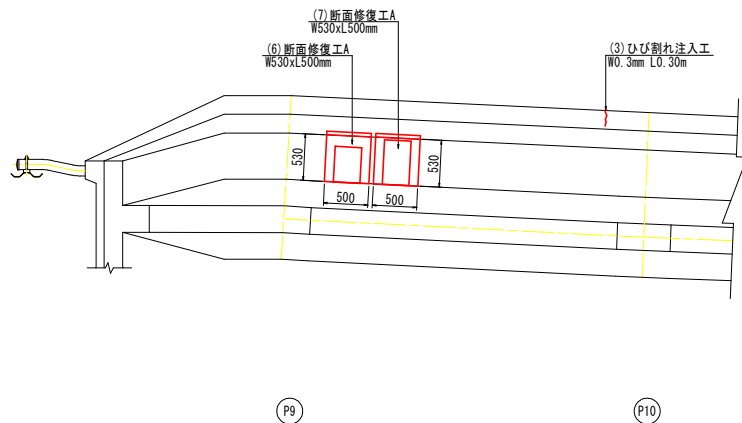
番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m <sup>3</sup> )	備考
(1)	0.10	0.25	0.04	0.001	床版下面
(2)	0.70	0.55	0.04	0.015	"
(3)	0.29	0.30	0.04	0.003	"
(4)	0.25	0.30	0.04	0.003	"
(5)	0.60	0.50	0.04	0.012	"
(6)	0.53	0.50	0.04	0.011	G1主桁張出部
(7)	0.53	0.50	0.04	0.011	"
			合計	0.056	

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第10径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.40	1.37	0.04	0.026	床版下面
(2)	0.30	2.10	0.04	0.030	"
(3)	0.30	0.30	0.04	0.004	地覆側面
			合計	0.060	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

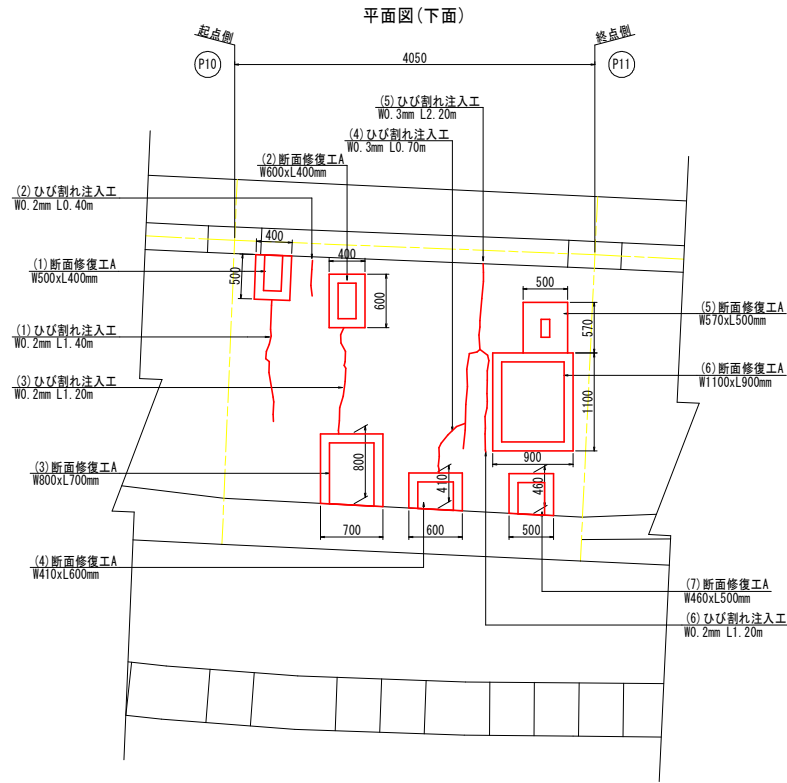


【実施設計図面】

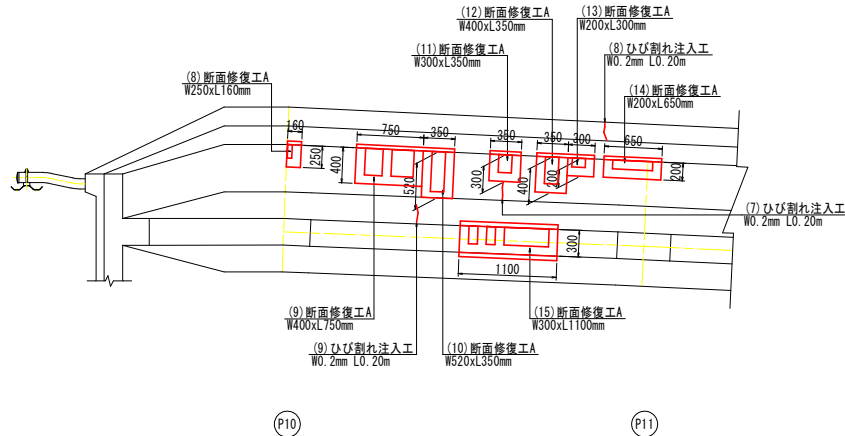
工事名	R8修土 奥籠野国府線(南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	奥籠野国府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(10/19)		
縮尺	図示	図面番号	17 / 43
業社名	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

南丁棧道橋 上部工補修詳細図(11/19) S=1:30

第11径間 補修図



主桁展開図



第11径間 断面修復工:A(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.50	0.40	0.04	0.008	床版下面
(2)	0.60	0.40	0.04	0.010	"
(3)	0.80	0.70	0.04	0.022	"
(4)	0.41	0.60	0.04	0.010	"
(5)	0.57	0.50	0.04	0.011	"
(6)	1.10	0.90	0.04	0.040	"
(7)	0.46	0.50	0.04	0.009	"
(8)	0.25	0.16	0.04	0.002	G1主桁張出部
(9)	0.40	0.75	0.04	0.012	"
(10)	0.52	0.35	0.04	0.007	"
(11)	0.30	0.35	0.04	0.004	"
(12)	0.40	0.35	0.04	0.006	"
(13)	0.20	0.30	0.04	0.002	"
(14)	0.20	0.65	0.04	0.005	"
(15)	0.30	1.10	0.05	0.017	G1主桁下面
合計				0.165	

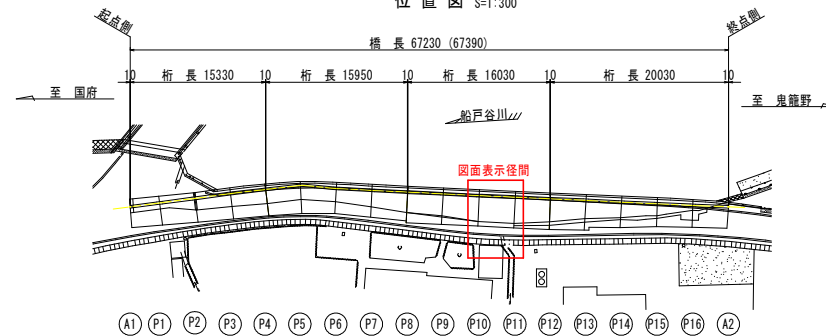
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第11径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.20	1.40	0.04	0.013	床版下面
(2)	0.20	0.40	0.04	0.004	"
(3)	0.20	1.20	0.04	0.012	"
(4)	0.30	0.70	0.04	0.010	"
(5)	0.30	2.20	0.04	0.032	"
(6)	0.20	1.20	0.04	0.012	"
(7)	0.20	0.20	0.04	0.002	G1主桁張出部
(8)	0.20	0.20	0.04	0.002	地覆側面
(9)	0.20	0.20	0.05	0.002	G1主桁側面
合計				0.089	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:300

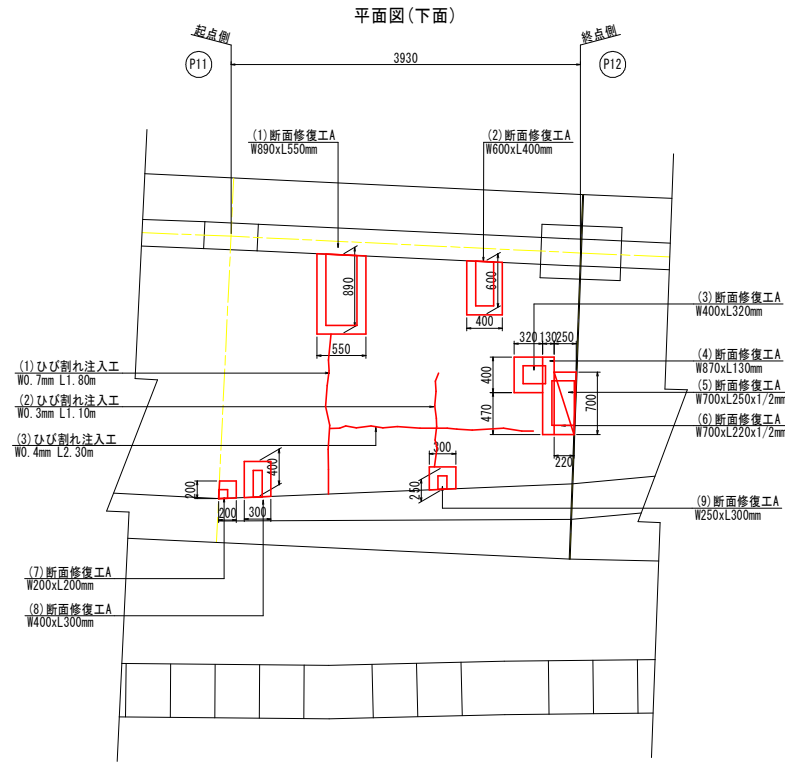


【実施設計図面】

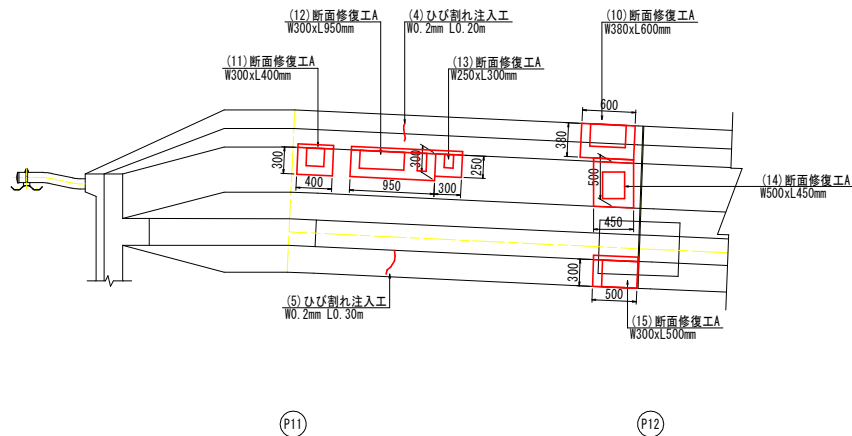
工事名	R8修土 尾籠野面河橋(南丁棧道橋) 第一号 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	尾籠野面河線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(11/19)		
縮尺	図示	図面番号	18 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

南丁棧道橋 上部工補修詳細図(12/19) S=1:30

第12径間 補修図



主桁展開図



第12径間 断面修復工:A(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.89	0.55	0.04	0.020	床版下面
(2)	0.60	0.40	0.04	0.010	"
(3)	0.40	0.32	0.04	0.005	"
(4)	0.87	0.13	0.04	0.005	"
(5)	0.70	0.25	0.04	0.004	床版下面※
(6)	0.70	0.22	0.04	0.003	"
(7)	0.20	0.20	0.04	0.002	床版下面
(8)	0.40	0.30	0.04	0.005	"
(9)	0.25	0.30	0.04	0.003	"
(10)	0.38	0.60	0.04	0.009	地覆側面
(11)	0.30	0.40	0.04	0.005	G1主桁張出部
(12)	0.30	0.95	0.04	0.011	"
(13)	0.25	0.30	0.04	0.003	"
(14)	0.50	0.45	0.04	0.009	"
(15)	0.30	0.50	0.05	0.008	G1主桁側面
合計				0.102	

※は、A=幅×長さ×1/2

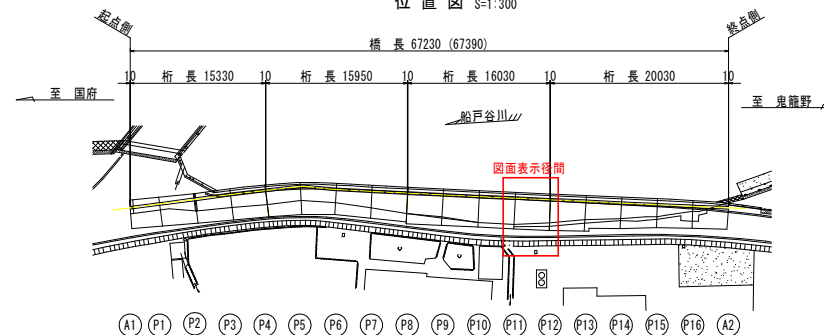
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第12径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.70	1.80	0.04	0.060	床版下面
(2)	0.30	1.10	0.04	0.016	"
(3)	0.40	2.30	0.04	0.044	"
(4)	0.20	0.20	0.04	0.002	地覆側面
(5)	0.20	0.30	0.05	0.004	G1主桁側面
合計				0.126	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:300

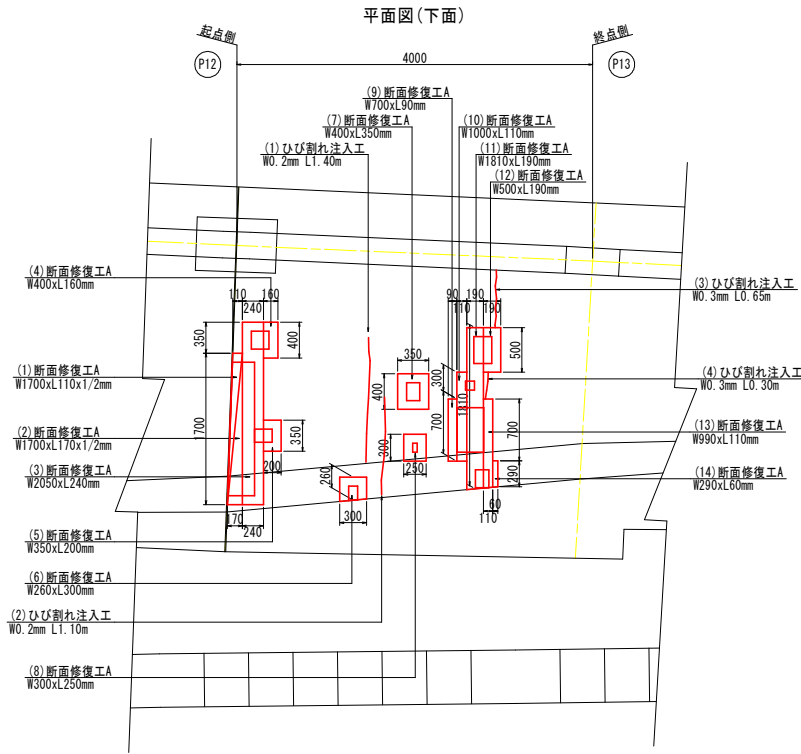


【実施設計図面】

工事名	R8修工 尾籠野国府線(南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	尾籠野国府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(12/19)		
縮尺	図示	図面番号	19 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県工務部事務所		

南丁棧道橋 上部工補修詳細図(13/19) S=1:30

第13径間 補修図



第13径間 断面修復工:A(左管工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	1.70	0.11	0.04	0.004	床版下面※
(2)	1.70	0.17	0.04	0.006	〃
(3)	2.05	0.24	0.04	0.020	床版下面
(4)	0.40	0.16	0.04	0.003	〃
(5)	0.35	0.20	0.04	0.003	〃
(6)	0.26	0.30	0.04	0.003	〃
(7)	0.40	0.35	0.04	0.006	〃
(8)	0.30	0.25	0.04	0.003	〃
(9)	0.70	0.09	0.04	0.003	〃
(10)	1.00	0.11	0.04	0.004	〃
(11)	1.81	0.19	0.04	0.014	〃
(12)	0.50	0.19	0.04	0.004	〃
(13)	0.99	0.11	0.04	0.004	〃
(14)	0.29	0.06	0.04	0.001	〃
(15)	0.50	0.60	0.04	0.012	G1主桁張出部
(16)	0.28	0.35	0.04	0.004	〃
(17)	0.50	0.65	0.04	0.013	〃
(18)	0.42	0.40	0.04	0.007	〃
(19)	0.30	0.40	0.04	0.005	〃
(20)	0.50	0.60	0.04	0.012	〃
(21)	0.30	0.60	0.05	0.009	G1主桁下面
			合計	0.140	

第13径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

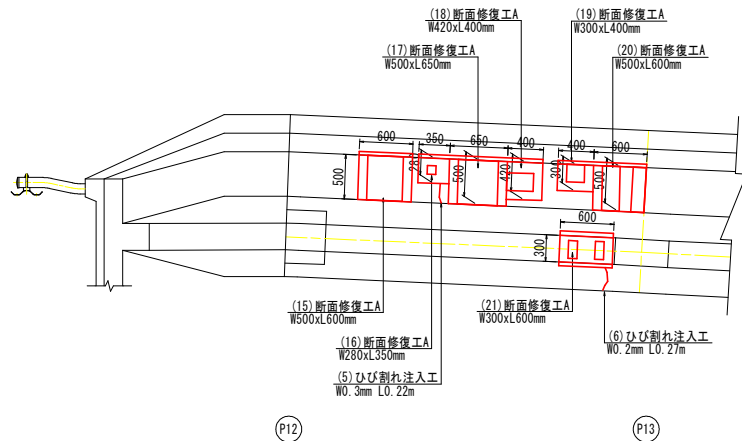
番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.20	1.40	0.04	0.013	床版下面
(2)	0.20	1.10	0.04	0.011	〃
(3)	0.30	0.65	0.04	0.009	〃
(4)	0.30	0.30	0.04	0.004	〃
(5)	0.30	0.22	0.04	0.003	G1主桁張出部
(6)	0.20	0.27	0.05	0.003	G1主桁側面
			合計	0.043	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

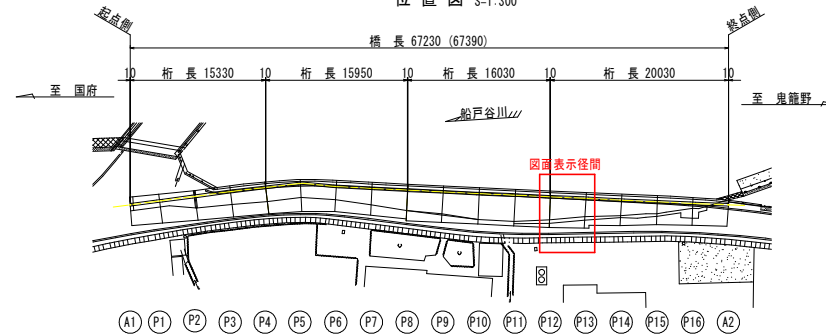
※は、A=幅×長さ×1/2

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

主桁展開図



位置図 S=1:300

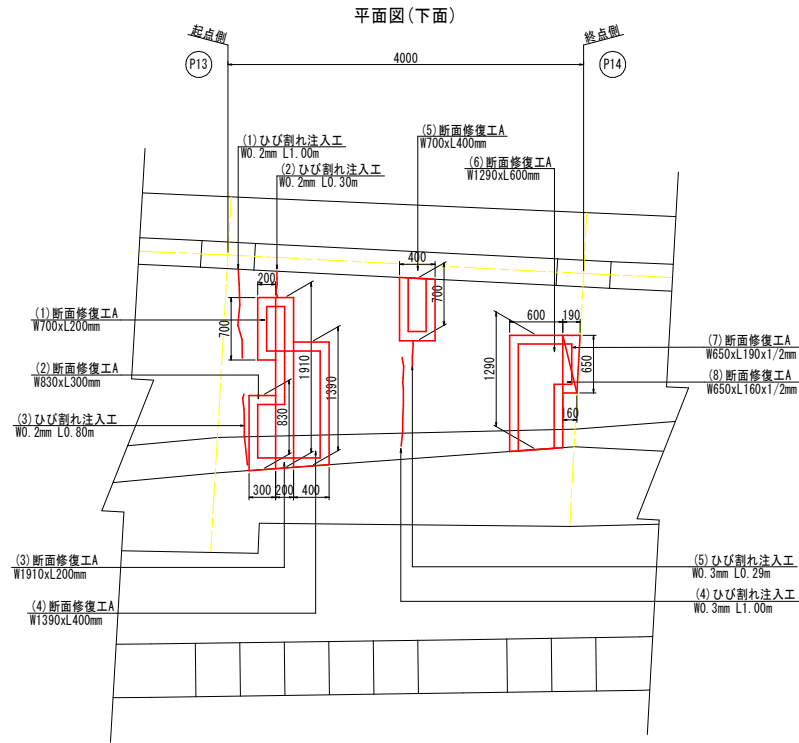


【実施設計図面】

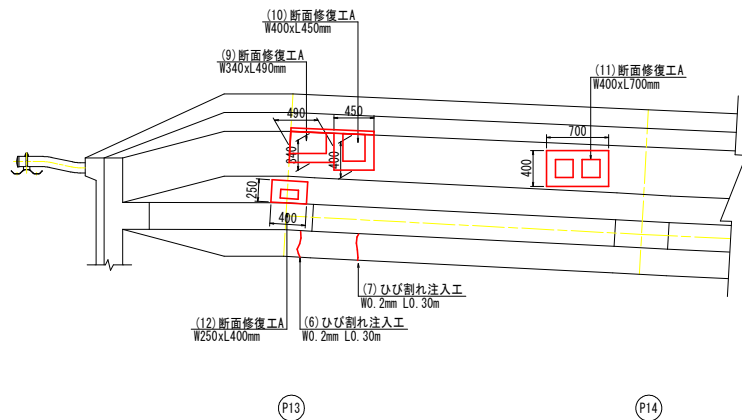
工事名	R8修土 奥籠野国府線(南丁棧道橋) 第一号 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	奥籠野国府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(13/19)		
縮尺	図示	図面番号	20 / 43
年度	令和8年度		
事業名	徳島県土整備事務所		

南丁棧道橋 上部工補修詳細図(14/19) S=1:30

第14径間 補修図



主桁展開図



第14径間 断面修復工:A(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.70	0.20	0.04	0.006	床版下面
(2)	0.83	0.30	0.04	0.010	"
(3)	1.91	0.20	0.04	0.015	"
(4)	1.39	0.40	0.04	0.022	"
(5)	0.70	0.40	0.04	0.011	"
(6)	1.29	0.60	0.04	0.031	"
(7)	0.65	0.19	0.04	0.002	床版下面※
(8)	0.65	0.16	0.04	0.002	"
(9)	0.34	0.49	0.04	0.007	G1主桁張出部
(10)	0.40	0.45	0.04	0.007	"
(11)	0.40	0.70	0.04	0.011	"
(12)	0.25	0.40	0.05	0.005	G1主桁側面
			合計	0.129	

※は、A=幅×長さ×1/2

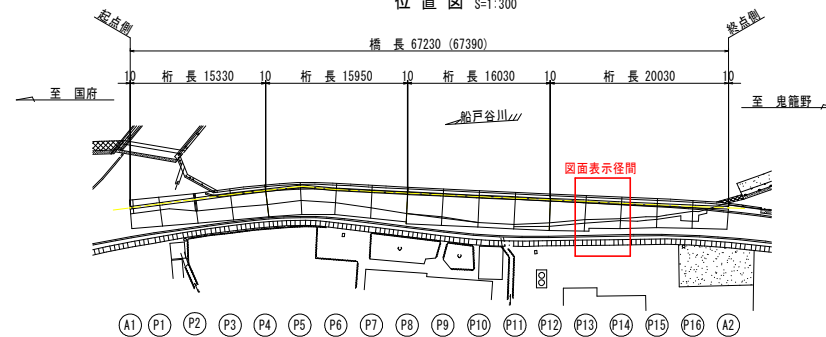
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第14径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.20	1.00	0.04	0.010	床版下面
(2)	0.20	0.30	0.04	0.003	"
(3)	0.20	0.80	0.04	0.008	"
(4)	0.30	1.00	0.04	0.014	"
(5)	0.30	0.29	0.04	0.004	"
(6)	0.20	0.30	0.05	0.004	G1主桁側面
(7)	0.20	0.30	0.05	0.004	"
			合計	0.047	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:300

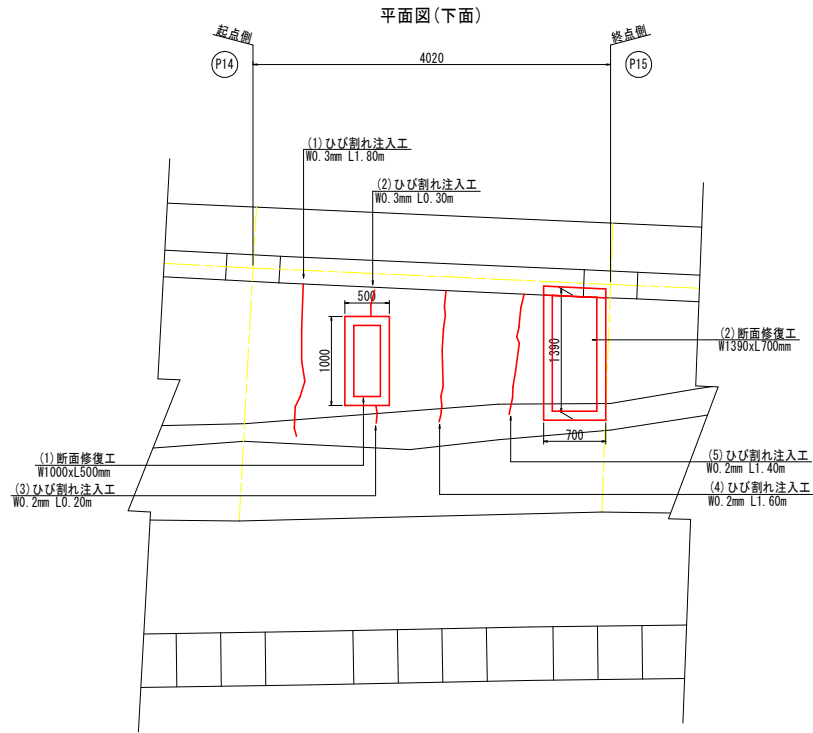


【実施設計図面】

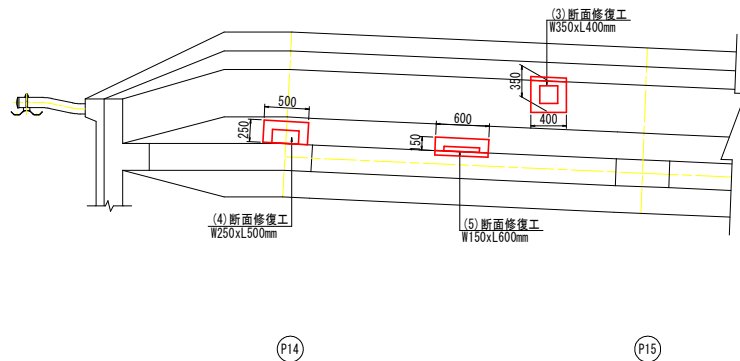
工事名	R8修土 鹿籠野河原(南丁棧道橋) 第一号 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	鹿籠野河原線		
工事箇所	鹿籠野一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(14/19)		
縮尺	図示	図面番号	21 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	鹿籠野土木建築事務所		

南丁棧道橋 上部工補修詳細図(15/19) S=1:30

第15径間 補修図



主桁展開図



第15径間 断面修復工:A(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m <sup>3</sup> )	備考
(1)	1.00	0.50	0.04	0.020	床版下面
(2)	1.39	0.70	0.04	0.039	"
(3)	0.35	0.40	0.04	0.006	G1主桁張出部
(4)	0.25	0.50	0.05	0.006	G1主桁側面
(5)	0.15	0.60	0.05	0.005	"
			合計	0.076	

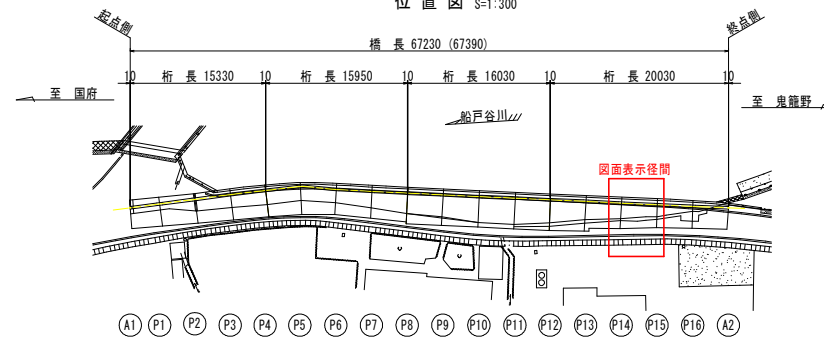
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第15径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.30	1.80	0.04	0.026	床版下面
(2)	0.30	0.30	0.04	0.004	"
(3)	0.20	0.20	0.04	0.002	"
(4)	0.20	1.60	0.04	0.015	"
(5)	0.20	1.40	0.04	0.013	"
			合計	0.060	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

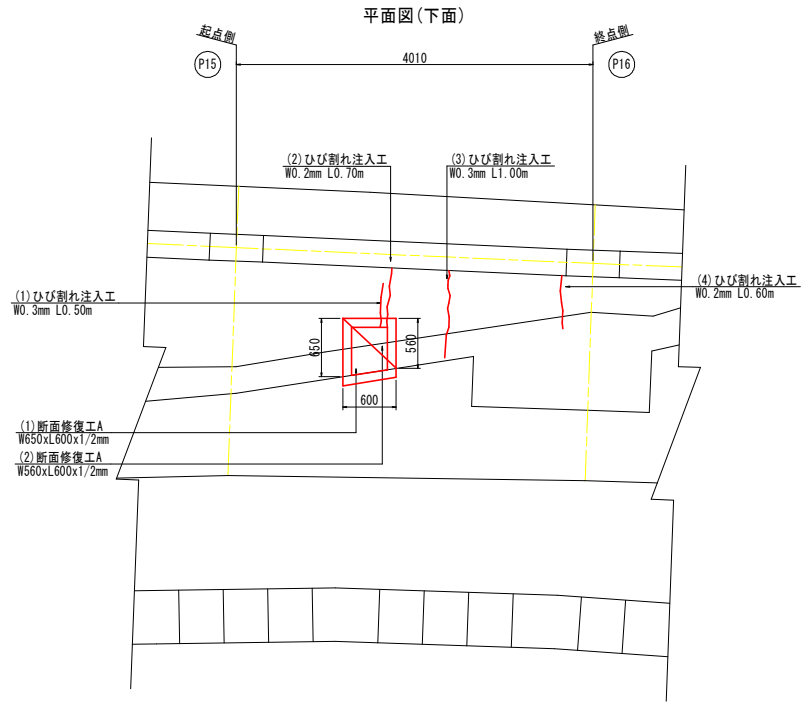
位置図 S=1:300



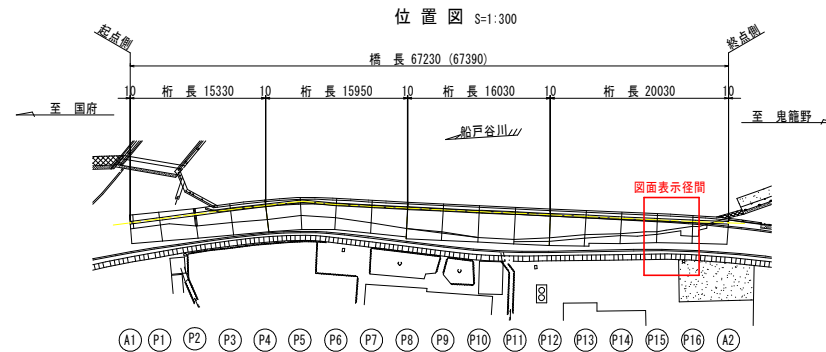
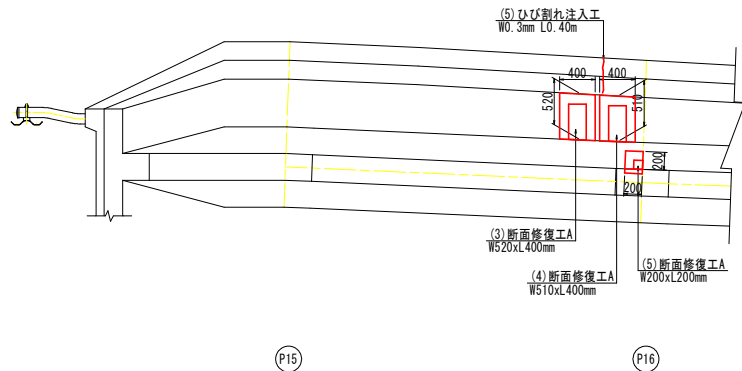
【実施設計図面】

工事名	R8修工 鬼籠野国府橋(南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	鬼籠野国府橋		
工事箇所	横浜市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(15/19)		
縮尺	図示	図面番号	22 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	横浜富士建設事務所		

第16径間 補修図



主桁展開図



第16径間 断面修復工:A(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.65	0.60	0.04	0.008	床版下面※
(2)	0.56	0.60	0.04	0.007	"
(3)	0.52	0.40	0.04	0.008	G1主桁張出部
(4)	0.51	0.40	0.04	0.008	"
(5)	0.20	0.20	0.05	0.002	G1主桁側面
			合計	0.033	

※は、A=幅×長さ×1/2

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第16径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.30	0.50	0.04	0.007	床版下面
(2)	0.20	0.70	0.04	0.007	"
(3)	0.30	1.00	0.04	0.014	"
(4)	0.20	0.60	0.04	0.006	"
(5)	0.30	0.40	0.04	0.006	G1主桁張出部
			合計	0.040	

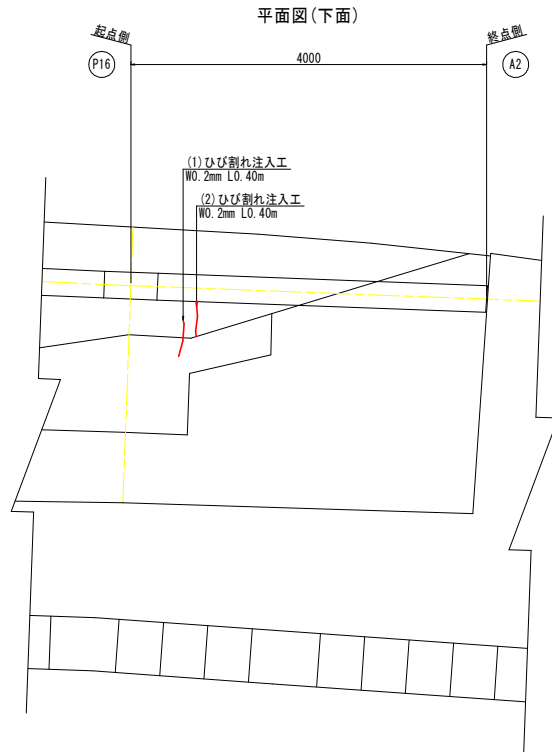
注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

【実施設計図面】

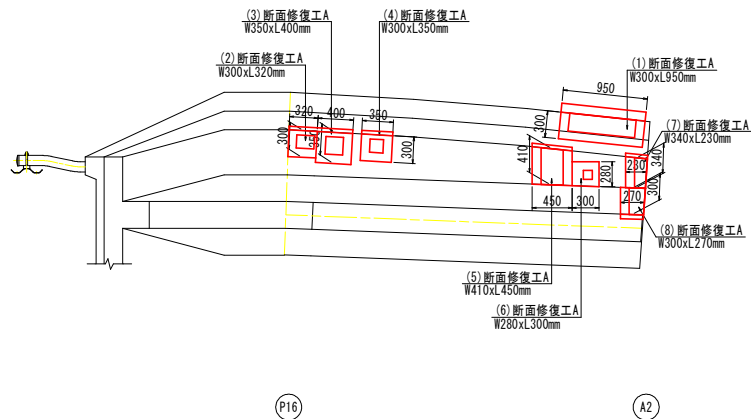
工事名	R8修土 尾籠野国府線(南丁棧道橋) 第一号 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	尾籠野国府線		
工事箇所	福島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(16/19)		
縮尺	図示	図面番号	23 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	福島県土木整備事務所		

南丁棧道橋 上部工補修詳細図(17/19) S=1:30

第17径間 補修図



主桁展開図



第17径間 断面修復工:A(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.30	0.95	0.04	0.011	地覆側面
(2)	0.30	0.32	0.04	0.004	G1主桁張出部
(3)	0.35	0.40	0.04	0.006	"
(4)	0.30	0.35	0.04	0.004	"
(5)	0.41	0.45	0.04	0.007	"
(6)	0.28	0.30	0.04	0.003	"
(7)	0.34	0.23	0.04	0.003	"
(8)	0.30	0.27	0.05	0.004	G1主桁側面
			合計	0.042	

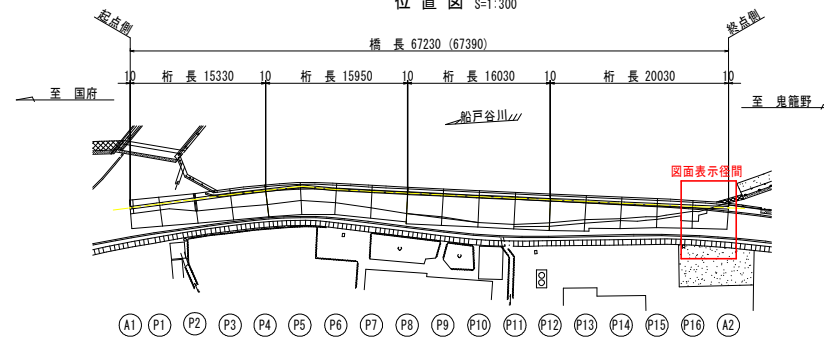
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

第17径間 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.20	0.40	0.04	0.004	床版下面
(2)	0.20	0.40	0.04	0.004	"
			合計	0.008	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:300



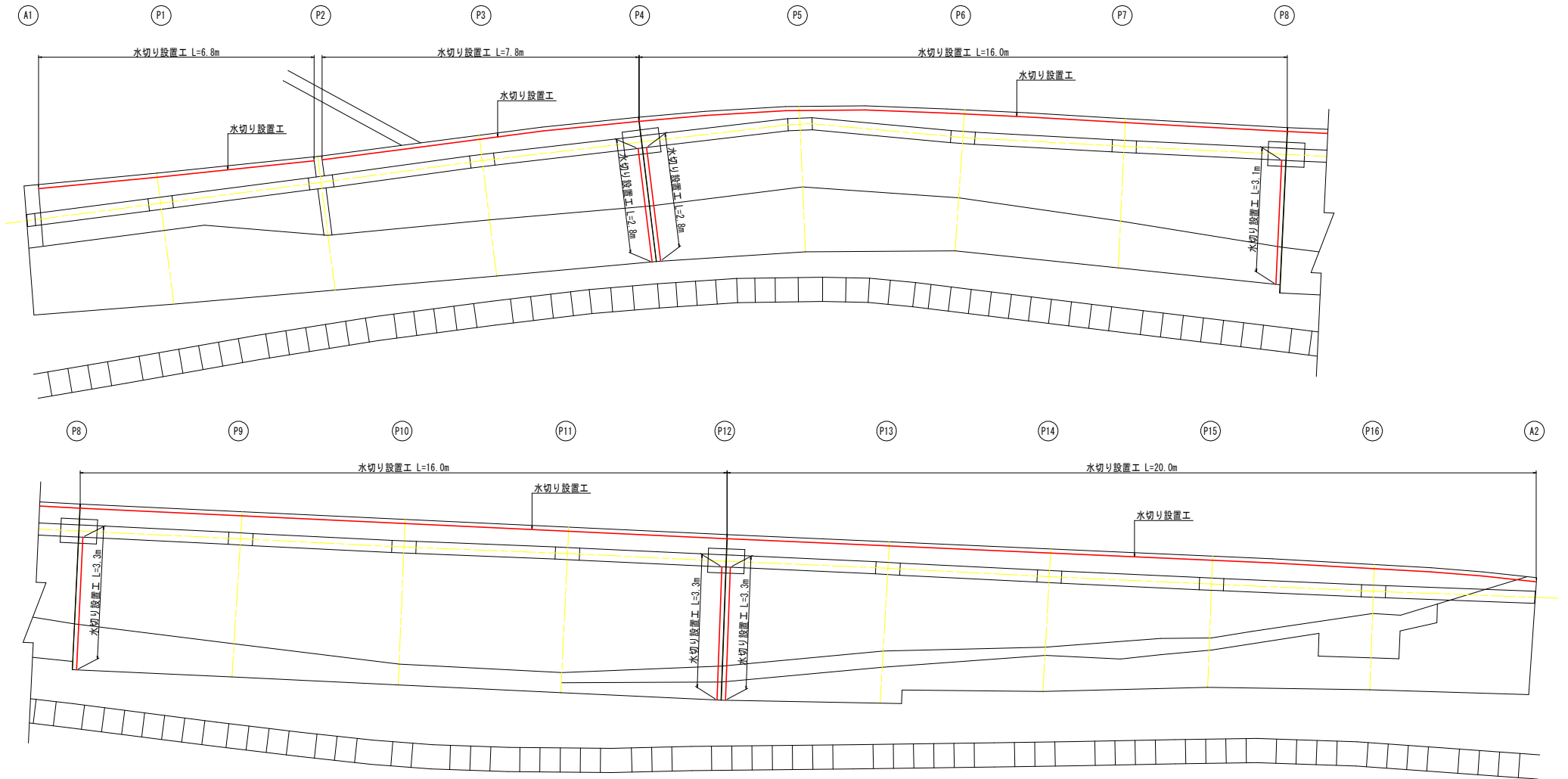
【実施設計図面】

工事名	R8修土 尾籠野国府線(南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	尾籠野国府線		
工事箇所	福島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(17/19)		
縮尺	図示	図面番号	24 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	福島県土整備事務所		

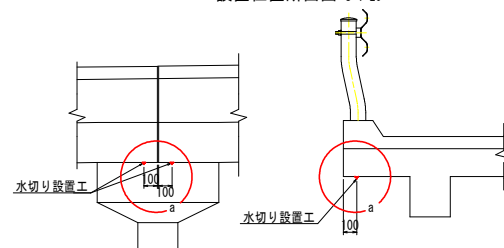
# 南丁棧道橋 上部工補修詳細図 (18/19)

## 水切り設置工詳細図 S=1:50

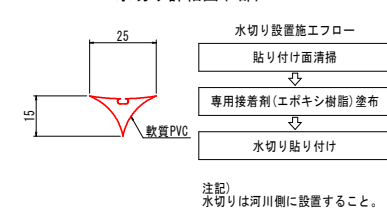
平面図 (下面)



設置位置断面図 S=1:20



水切り詳細図 (a部)



【実施設計図面】

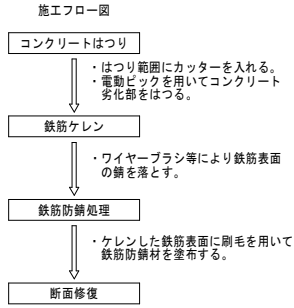
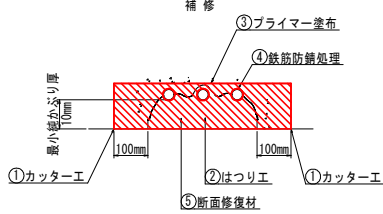
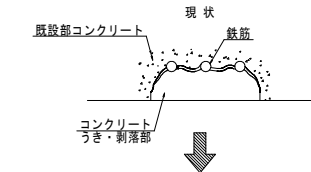
工事名	R8橋土 尾鷲野原河橋 (雨丁棧道橋) 橋一宮 橋梁修繕工事 (全南)		
路線名等	尾鷲野原河橋		
工事箇所	徳島市一宮町 (雨丁棧道橋)		
図面名	雨丁棧道橋 上部工補修詳細図 (18/19)		
縮尺	図示	図面番号	25 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

# 南丁棧道橋 上部工補修詳細図(19/19)

## 補修要領図 共通図

### 断面修復工:A

[鉄筋構造物：左官工法]



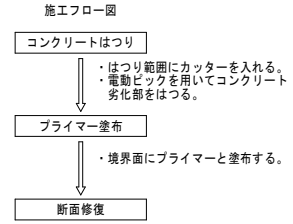
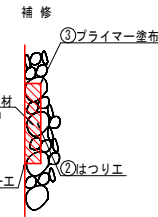
- 1) 亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルをコテ塗りし、当初の形状に戻す。
- 2) 1回の埋め戻し厚は、20~30mmを標準とし、下層モルタルが十分硬化したことを確認したうえで、次層のモルタルを塗り重ねる。
- 3) 露出させた鉄筋の背面側には、断面修復材が回りにくいため、特に入念に埋め戻す必要がある。
- 4) 断面修復厚さは、各部材で設定している。

断面修復材量Vは下式より算出する。  
 $V=W \cdot L \cdot t \cdot 1.18$   
 ここに、  
 V : 断面修復材量  
 W : 修復幅  
 L : 修復長  
 t : 修復厚  
 1.18 : ロス率

- 【注記】
1. 鉄筋構造物の断面修復材は、亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルを基本とする。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
  2. 修復厚さは、現場調査結果より、床版下面：純かぶり20mm+主鉄筋φ14.3mm⇒40mm、主桁：純かぶり20mm+主鉄筋φ10.0mm⇒50mm に設定している。
  3. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
  4. 鉄筋構造物は鉄筋の裏側まではつりすることを原則とする。
  5. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

### 断面修復工:B

豆板補修(等級B)

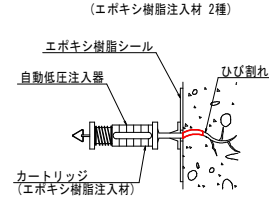


- 1) ポリマーセメントモルタルをコテ塗りし、当初の形状に戻す。
- 2) 豆板箇所の骨材の粒径により、10~30mmを断面修復厚さとする。
- 3) 境界面にはプライマーを塗布する。

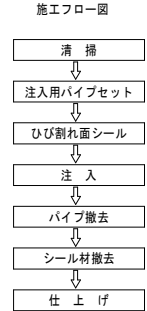
- 【注記】
1. 断面修復材は、ポリマーセメントモルタルを基本とする。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
  2. 修復厚さは、豆板箇所の骨材の粒径により、10~30mmを断面修復厚さとする。
  3. 境界面にはプライマーを塗布する。
  4. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
  5. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

### ひび割れ補修工

[低圧注入工法]



低圧注入器間隔 標準 @300  
 注入量Vは下式より算出する。  
 $V=1200 \cdot b \cdot h \cdot L \cdot 1.20$   
 ここに、  
 W : 注入量  
 1200 : エポキシ樹脂系注入材比重  
 b : ひび割れ幅  
 h : ひび割れ深さ  
 L : ひび割れ延長  
 1.20 : ロス率



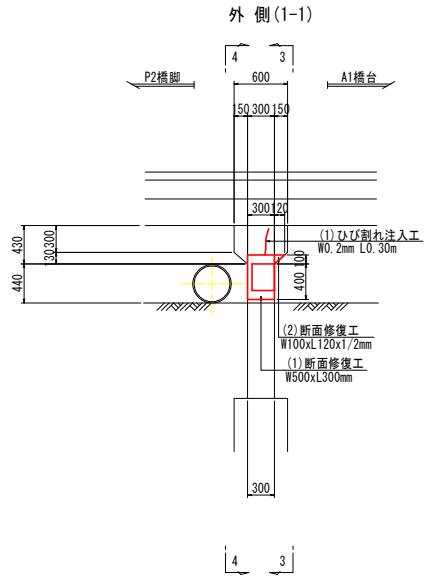
- 【注記】
1. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行い決定すること。
  2. 注入工法の注入材は、エポキシ樹脂系注入材2種を基本とする。ただし、施工性等から材料、種別等を変更する場合は協議を行い決定すること。
  3. 注入深さは、床版下面 40mm、主桁 50mmに設定している。
  4. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

### 【実施設計図面】

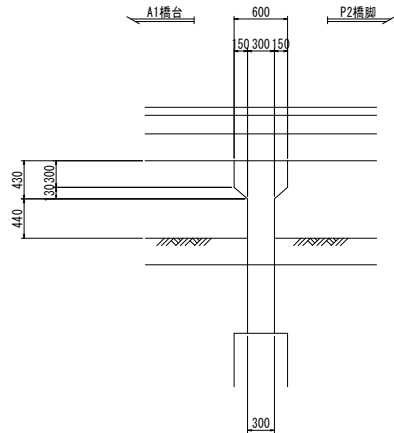
工事名	R8修土 尾籠野留岸線(南丁棧道橋) 第一号 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	尾籠野留岸線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 上部工補修詳細図(19/19)		
縮尺	図示	図面番号	26 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

P1橋脚 補修図

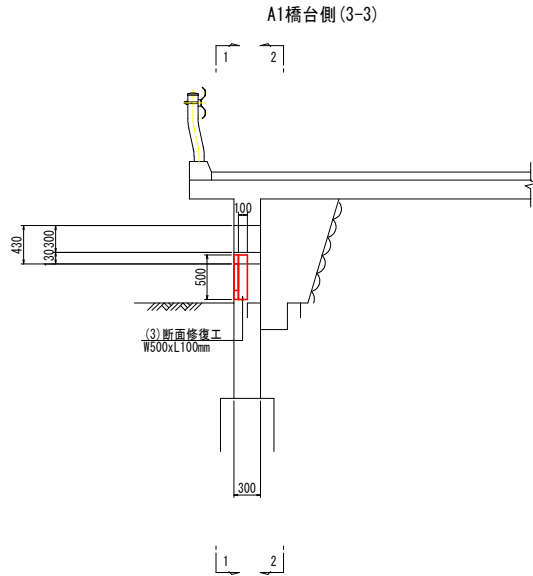
側面図



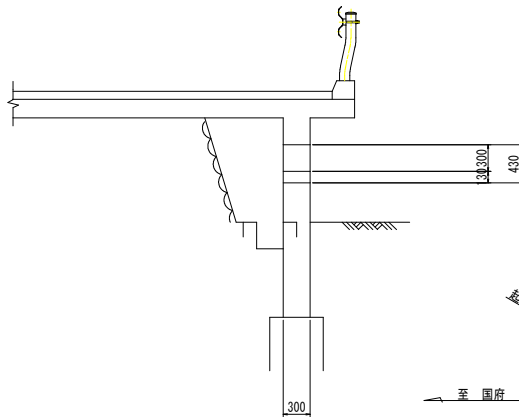
内側(2-2)



断面図



P2橋脚側(4-4)



P1橋脚 断面修復工(A左置工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.50	0.30	0.05	0.008	柱部外側
(2)	0.10	0.12	0.05	0.001	柱部外側※
(3)	0.50	0.10	0.05	0.003	柱部A1橋台側
合計				0.012	

※は、A=幅x長さx1/2

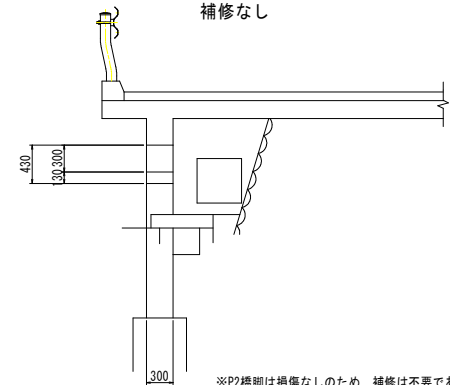
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

P1橋脚 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.20	0.30	0.05	0.004	梁部外側
合計				0.004	

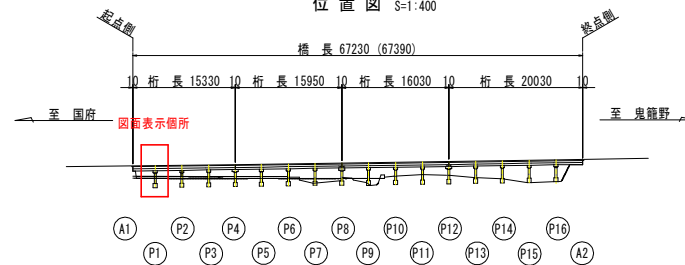
注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

P2橋脚 断面図  
P1橋脚側



※P2橋脚は損傷なしのため、補修は不要である。

位置図 S=1:400

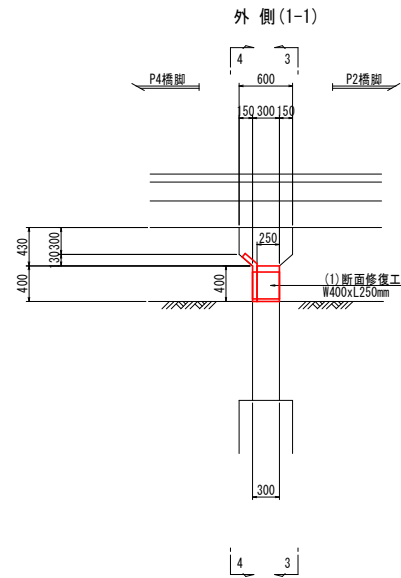


【実施設計図面】

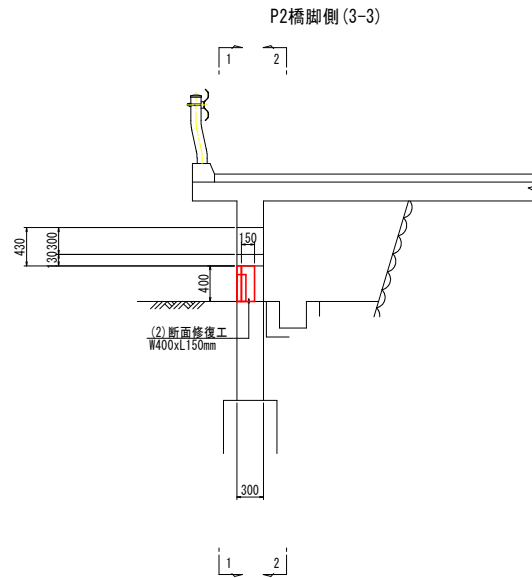
工事名	R8修土 鬼籠野留岸線(南丁棧道橋) 第一号 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	鬼籠野留岸線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図(1/16)		
縮尺	図示	図面番号	27 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

P3橋脚 補修図

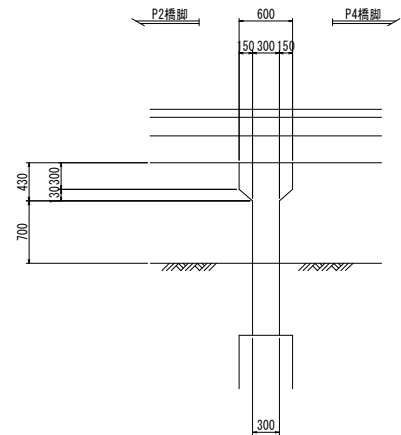
側面図



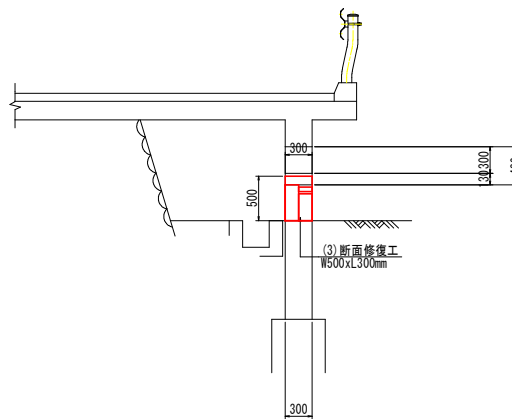
断面図



内側(2-2)



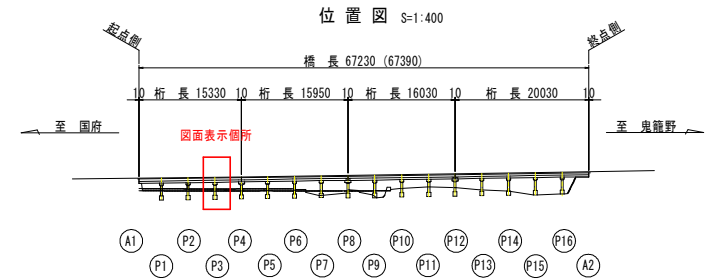
P4橋脚側(4-4)



P3橋脚 断面修復工:A(左置工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.40	0.25	0.05	0.005	柱部外側
(2)	0.40	0.15	0.05	0.003	柱部P2橋脚側
(3)	0.50	0.30	0.05	0.008	柱部P4橋脚側
			合計	0.016	

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。



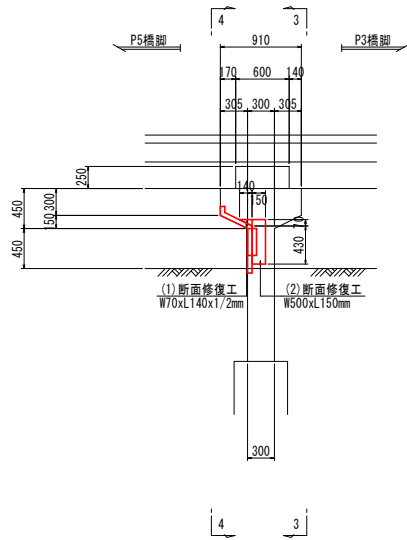
【実施設計図面】

工事名	R8修土 鬼籠野園府線(南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	鬼籠野園府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図(2/16)		
縮尺	図示	図面番号	28 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土木整備事務所		

P4橋脚 補修図

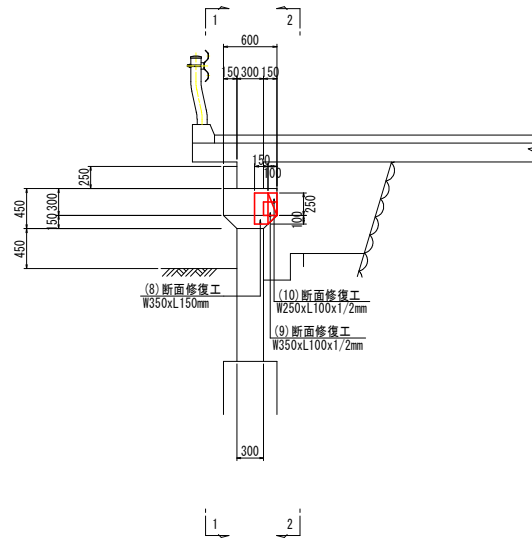
側面図

外側 (1-1)

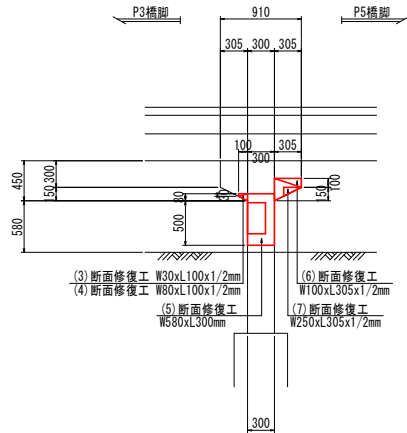


断面図

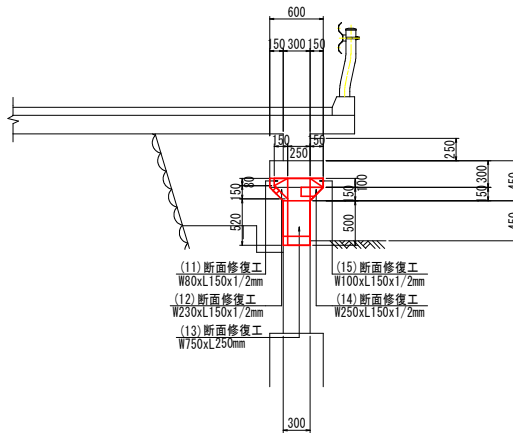
P3橋脚側 (3-3)



内側 (2-2)



P5橋脚側 (4-4)



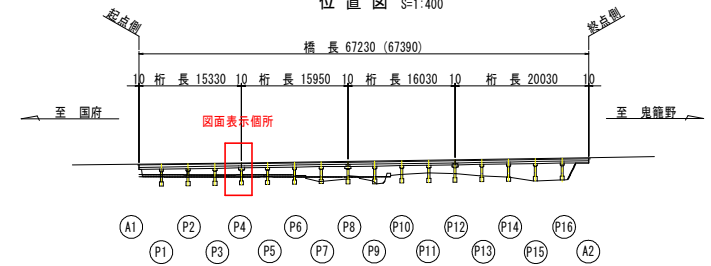
P4橋脚 断面修復工 A (左官工法)

番号	幅 (m)	長さ (m)	厚さ (m)	数量 (m3)	備考
(1)	0.07	0.14	0.05	0.001	柱部外側※
(2)	0.50	0.15	0.05	0.004	柱部外側
(3)	0.03	0.10	0.05	0.001	柱部内側※
(4)	0.08	0.10	0.05	0.001	〃
(5)	0.58	0.30	0.05	0.009	梁部内側
(6)	0.10	0.31	0.05	0.001	梁部内側※
(7)	0.25	0.31	0.05	0.002	〃
(8)	0.35	0.15	0.05	0.003	梁部P3橋脚側
(9)	0.35	0.10	0.05	0.001	梁部P3橋脚側※
(10)	0.25	0.10	0.05	0.001	〃
(11)	0.08	0.15	0.05	0.001	梁部P5橋脚側※
(12)	0.23	0.15	0.05	0.001	〃
(13)	0.75	0.25	0.05	0.009	柱部P5橋脚側
(14)	0.25	0.15	0.05	0.001	梁部P5橋脚側※
(15)	0.10	0.15	0.05	0.001	〃
合計				0.037	

※は、A=幅×長さ×1/2

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:400



【実施設計図面】

工事名	R8修土 鬼籠野面府線 (南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事 (企画)		
路線名等	鬼籠野面府線		
工事箇所	徳島市一宮町 (南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図 (3/16)		
縮尺	図示	図面番号	29 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

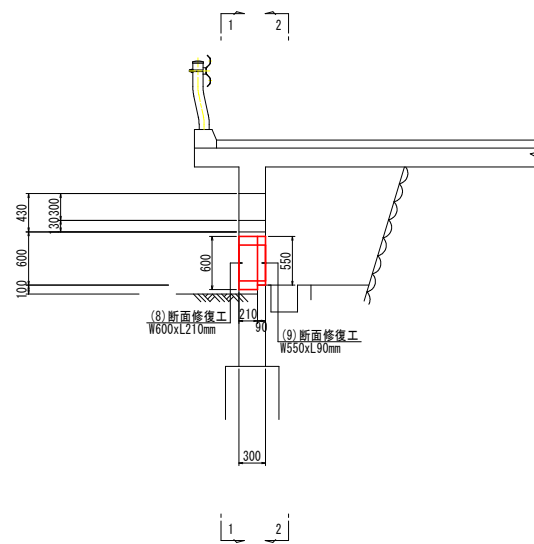
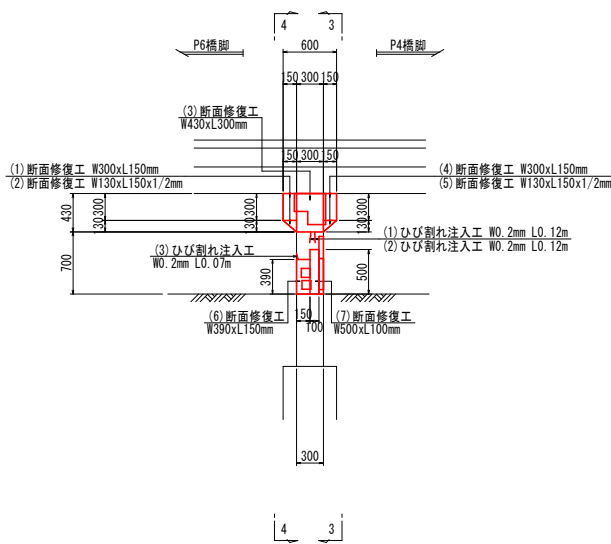
P5橋脚 補修図

側面図

断面図

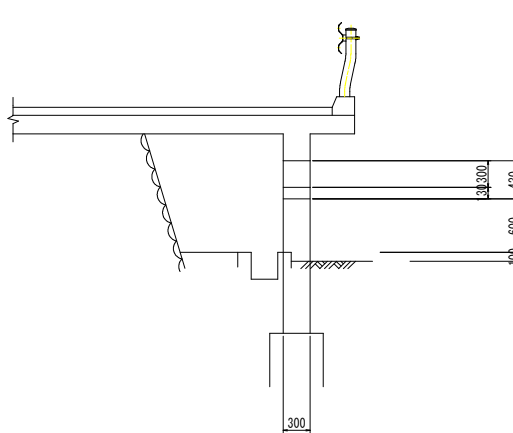
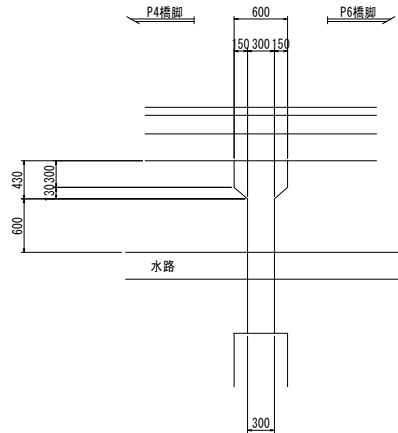
外側(1-1)

P4橋脚側(3-3)



内側(2-2)

P6橋脚側(4-4)



P5橋脚 断面修復工:A(左置工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.30	0.15	0.05	0.002	梁部外側
(2)	0.13	0.15	0.05	0.001	梁部外側※
(3)	0.43	0.30	0.05	0.006	梁部外側
(4)	0.30	0.15	0.05	0.002	"
(5)	0.13	0.15	0.05	0.001	梁部外側※
(6)	0.39	0.15	0.05	0.003	柱部外側
(7)	0.50	0.10	0.05	0.003	"
(8)	0.60	0.21	0.05	0.006	柱部P4橋脚側
(9)	0.55	0.09	0.05	0.002	"
				合計	0.026

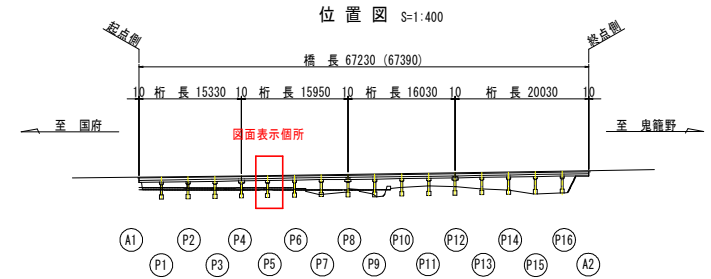
※は、A=幅×長さx1/2

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

P5橋脚 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.20	0.12	0.05	0.001	柱部外側
(2)	0.20	0.12	0.05	0.001	"
(3)	0.20	0.07	0.05	0.001	"
				合計	0.003

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。



【実施設計図面】

工事名	R8橋土 鬼籠野園府線(雨丁棧道橋) 橋一宮 橋梁補修工事(企画)		
路線名等	鬼籠野園府線		
工事箇所	徳島市一宮町(雨丁棧道橋)		
図面名	雨丁棧道橋 下部工補修詳細図(4/16)		
縮尺	図示	図面番号	30 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

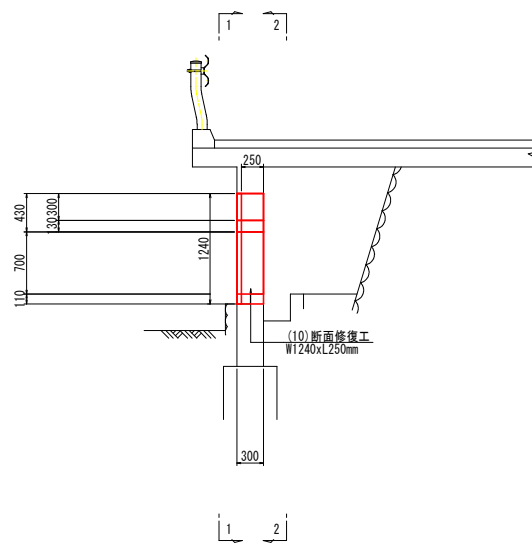
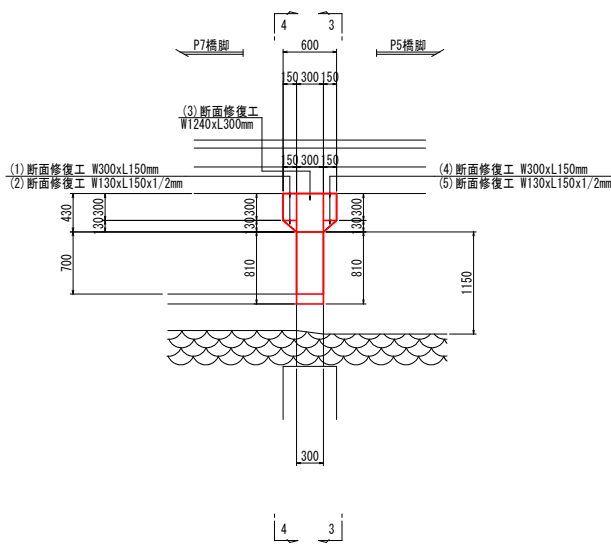
P6橋脚 補修図

側面図

断面図

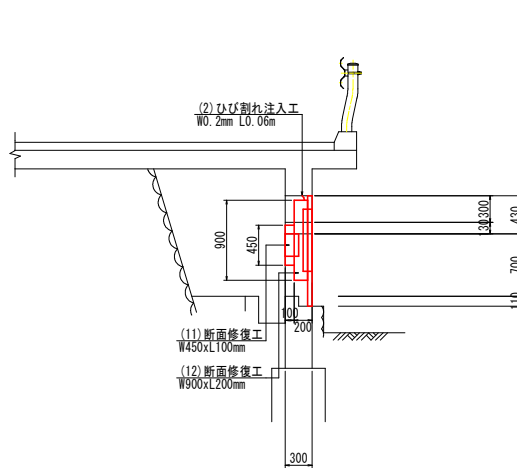
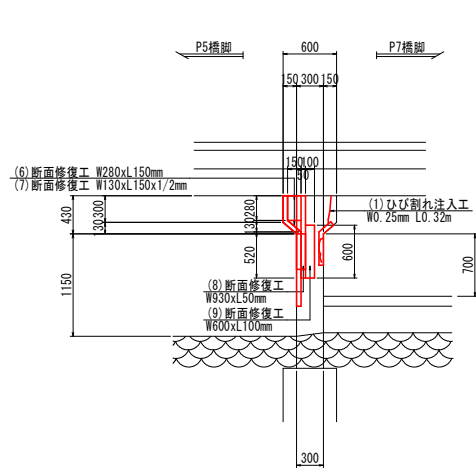
外側(1-1)

P5橋脚側(3-3)



内側(2-2)

P7橋脚側(4-4)



P6橋脚 断面修復工・A(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.30	0.15	0.05	0.002	梁部外側
(2)	0.13	0.15	0.05	0.001	梁部外側※
(3)	1.24	0.30	0.05	0.019	柱部外側
(4)	0.30	0.15	0.05	0.002	梁部外側
(5)	0.13	0.15	0.05	0.001	梁部外側※
(6)	0.28	0.15	0.05	0.002	梁部内側
(7)	0.13	0.15	0.05	0.001	梁部内側※
(8)	0.93	0.05	0.05	0.002	梁・柱部内側
(9)	0.60	0.10	0.05	0.003	柱部内側
(10)	1.24	0.25	0.05	0.016	梁・柱部P5橋脚側
(11)	0.45	0.10	0.05	0.002	柱部P7橋脚側
(12)	0.90	0.20	0.05	0.009	梁・柱部P7橋脚側
			合計	0.060	

※は、A=幅×長さx1/2

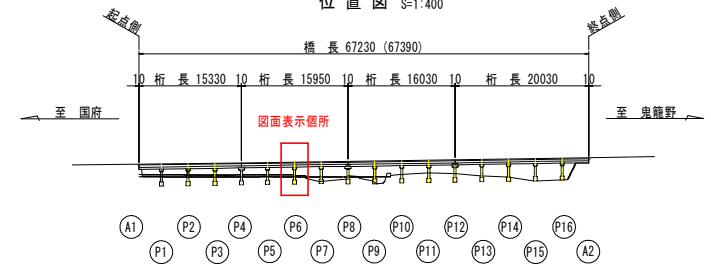
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

P6橋脚 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.25	0.32	0.05	0.005	梁部内側
(2)	0.20	0.06	0.05	0.001	梁部P7橋脚側
			合計	0.006	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:400



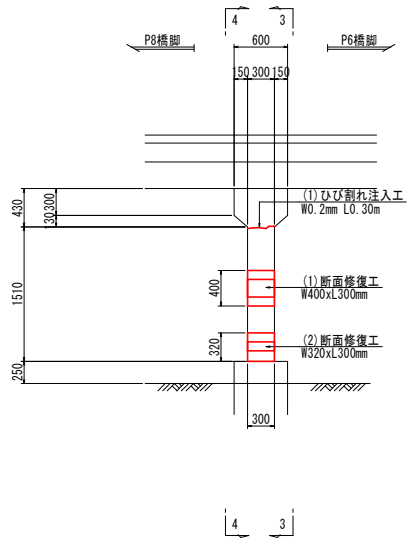
【実施設計図面】

工事名	R8修土 鬼籠野留付橋(雨丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	鬼籠野留付橋		
工事箇所	徳島市一宮町(雨丁棧道橋)		
図面名	雨丁棧道橋 下部工補修詳細図(5/16)		
縮尺	図示	図面番号	31 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土木整備事務所		

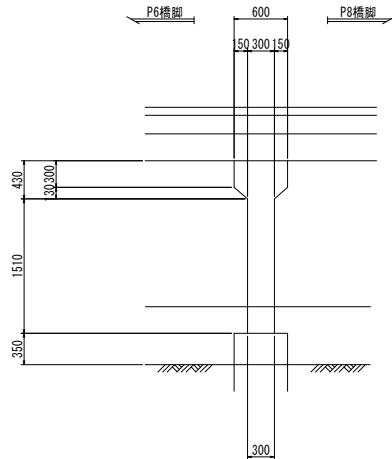
P7橋脚 補修図

側面図

外側(1-1)

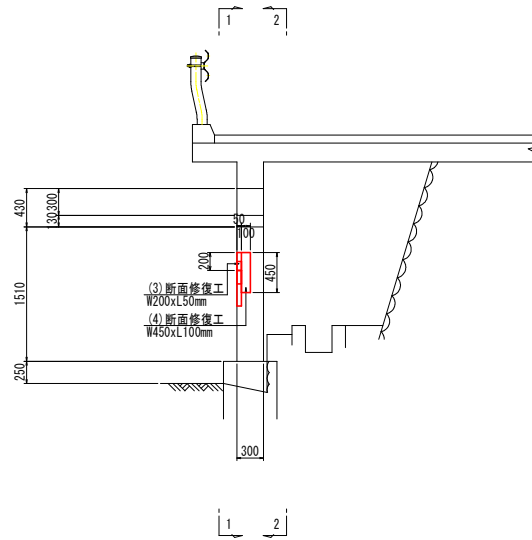


内側(2-2)

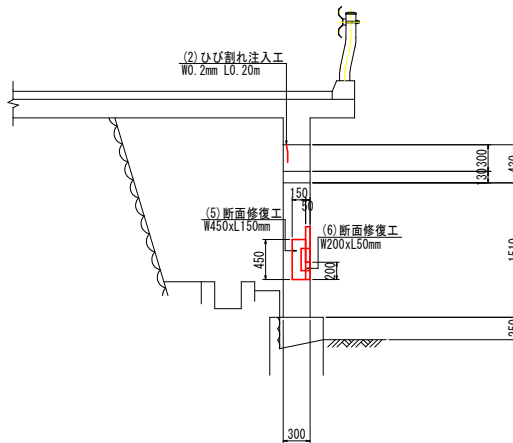


断面図

P6橋脚側(3-3)



P8橋脚側(4-4)



P7橋脚 断面修復工:A(左置工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.40	0.30	0.05	0.006	柱部外側
(2)	0.32	0.30	0.05	0.005	"
(3)	0.20	0.05	0.05	0.001	柱部P6橋脚側
(4)	0.45	0.10	0.05	0.002	"
(5)	0.45	0.15	0.05	0.003	柱部P8橋脚側
(6)	0.20	0.05	0.05	0.001	"
合計				0.018	

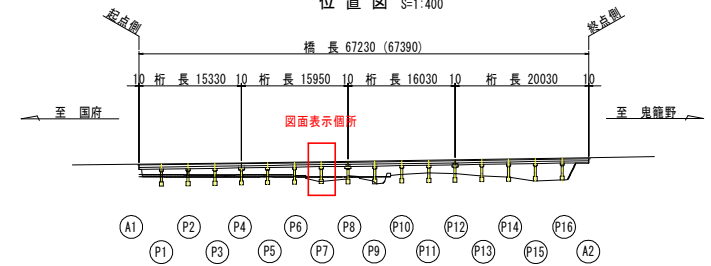
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

P7橋脚 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.20	0.30	0.05	0.004	柱部外側
(2)	0.20	0.20	0.05	0.002	梁部P8橋脚側
合計				0.006	

注) 上表の数量(注入量)は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:400



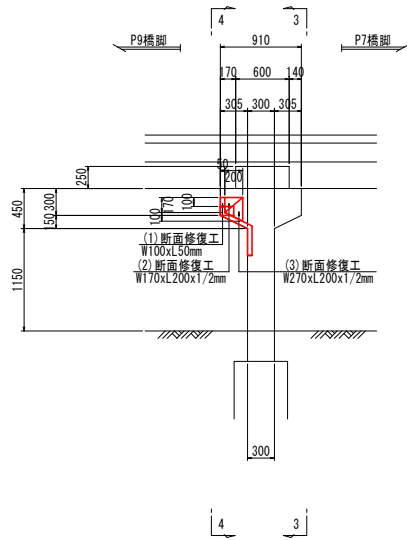
【実施設計図面】

工事名	R8橋土 鬼籠野留府線(南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	鬼籠野留府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図(6/16)		
縮尺	図示	図面番号	32 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

P8橋脚 補修図

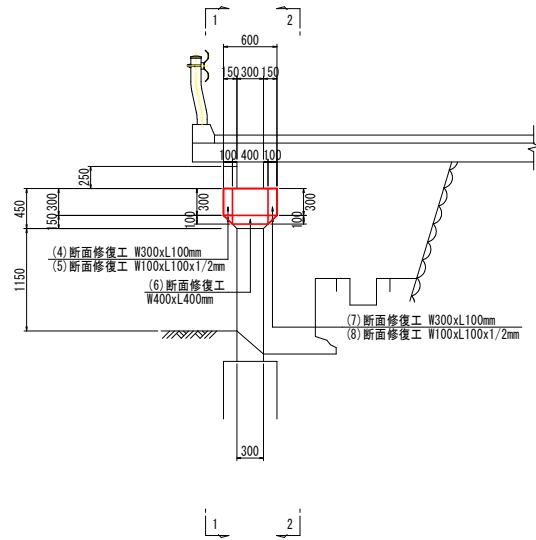
側面図

外側(1-1)



断面図

P7橋脚側(3-3)



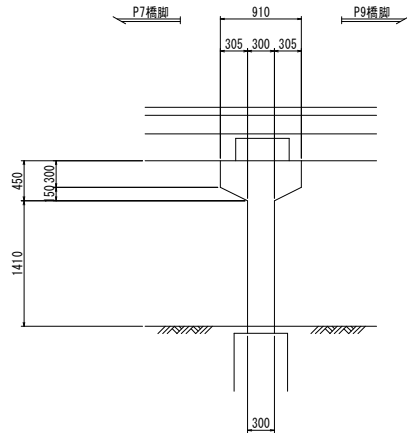
P8橋脚 断面修復工 A(左置工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.10	0.05	0.05	0.001	梁部外側
(2)	0.17	0.20	0.05	0.001	梁部外側※
(3)	0.27	0.20	0.05	0.001	"
(4)	0.30	0.10	0.05	0.002	梁部P7橋脚側
(5)	0.10	0.10	0.05	0.001	梁部P7橋脚側※
(6)	0.40	0.40	0.05	0.008	梁部P7橋脚側
(7)	0.30	0.10	0.05	0.002	"
(8)	0.10	0.10	0.05	0.001	梁部P7橋脚側※
(9)	0.25	0.15	0.05	0.002	梁部P9橋脚側
(10)	0.15	0.15	0.05	0.001	梁部P9橋脚側※
(11)	0.45	0.05	0.05	0.001	梁部P9橋脚側
(12)	0.70	0.20	0.05	0.007	梁・柱部P9橋脚側
(13)	0.55	0.05	0.05	0.001	"
(14)	0.10	0.15	0.05	0.001	梁部P9橋脚側
(15)	0.15	0.15	0.05	0.001	梁部P9橋脚側※
合計				0.031	

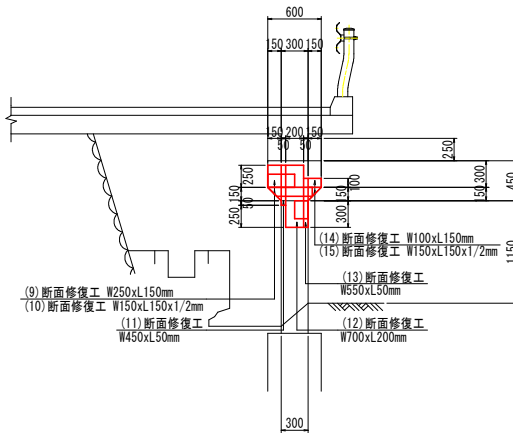
※は、A=幅×長さ×1/2

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

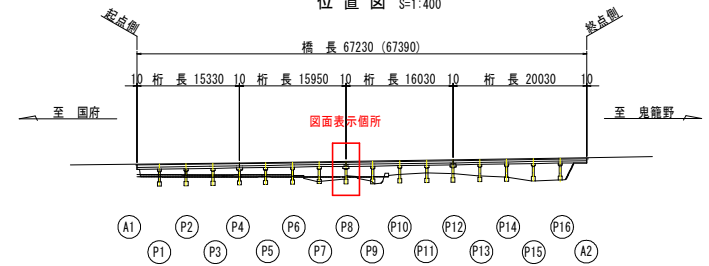
内側(2-2)



P9橋脚側(4-4)



位置図 S=1:400



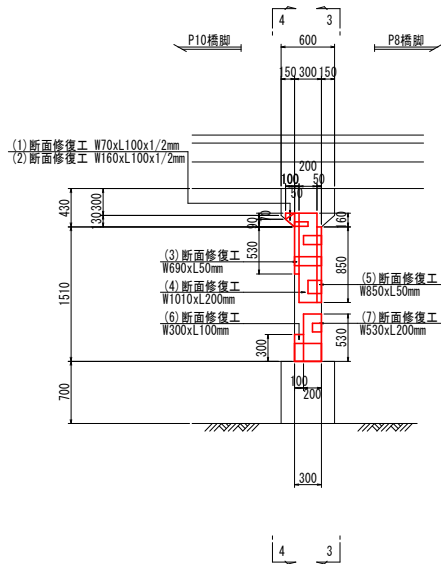
【実施設計図面】

工事名	R8橋土 鬼籠野面岸線(南丁棧道橋) 第一号 橋梁補修工事(企画)		
路線名等	鬼籠野面岸線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図(7/16)		
縮尺	図示	図面番号	33 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

P9橋脚 補修図

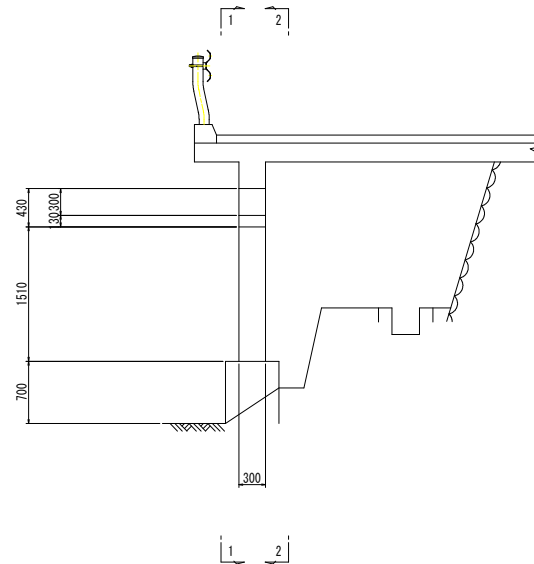
側面図

外側(1-1)

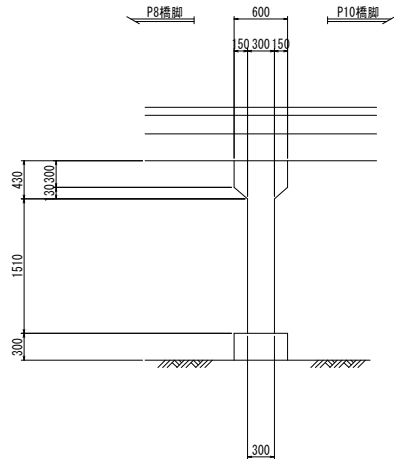


断面図

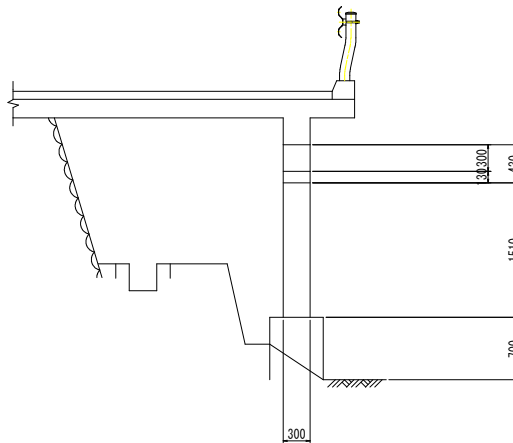
P8橋脚側(3-3)



内側(2-2)



P10橋脚側(4-4)



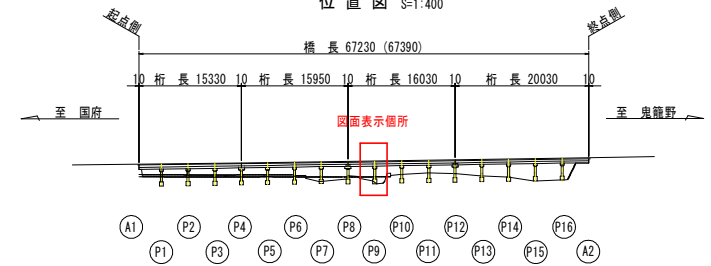
P9橋脚 断面修復工:A(左置工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.07	0.10	0.05	0.001	梁部外側※
(2)	0.16	0.10	0.05	0.001	〃
(3)	0.69	0.05	0.05	0.002	柱部外側
(4)	1.01	0.20	0.05	0.010	〃
(5)	0.85	0.05	0.05	0.002	〃
(6)	0.30	0.10	0.05	0.002	〃
(7)	0.53	0.20	0.05	0.005	〃
			合計	0.023	

※は、A=幅×長さ×1/2

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:400



【実施設計図面】

工事名	R8修土 鬼籠野面府線(南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	鬼籠野面府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図(8/16)		
縮尺	図示	図面番号	34 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

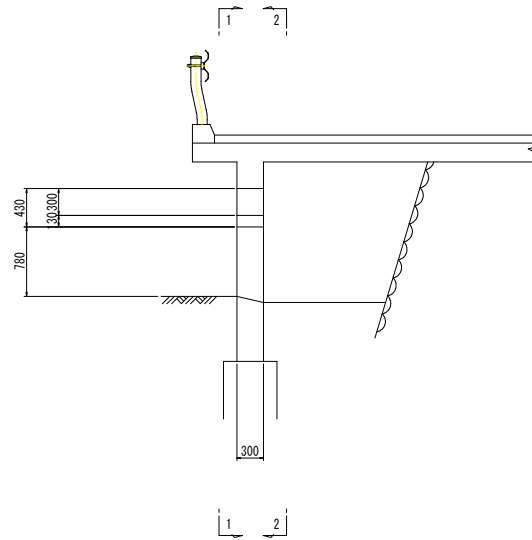
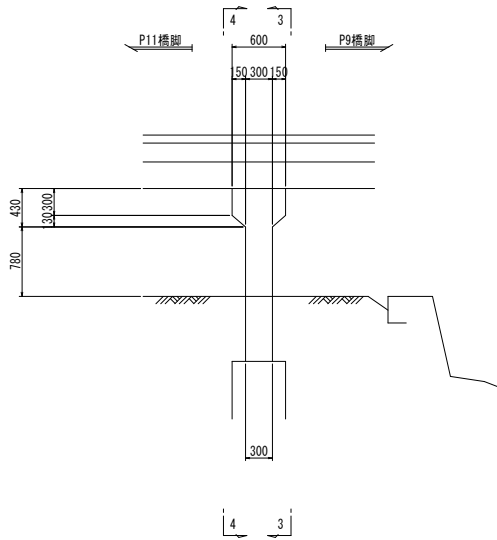
P10橋脚 補修図

側面図

断面図

外側 (1-1)

P9橋脚側 (3-3)



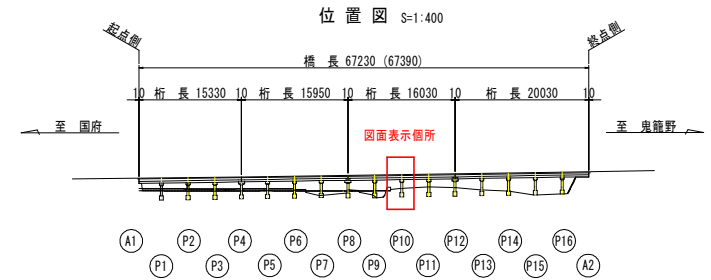
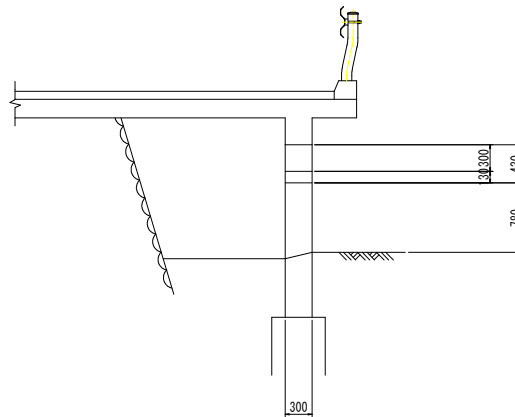
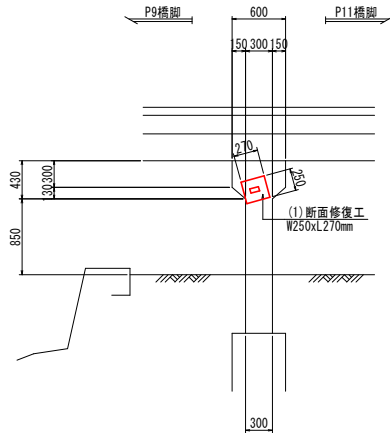
P10橋脚 断面修復工:A(左管工法)

番号	幅 (m)	長さ (m)	厚さ (m)	数量 (m3)	備考
(1)	0.25	0.27	0.05	0.003	梁部内側
			合計	0.003	

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

内側 (2-2)

P11橋脚側 (4-4)



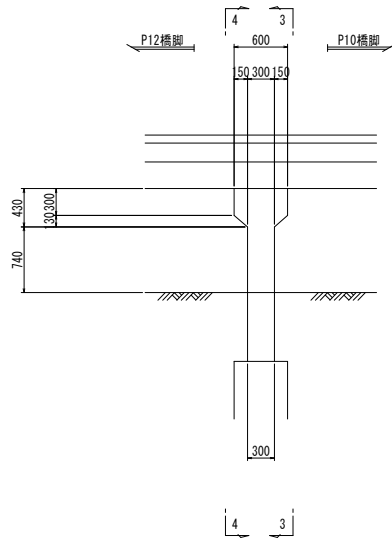
【実施設計図面】

工事名	R8修土 鬼籠野面府線 (南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事 (企画)		
路線名等	鬼籠野面府線		
工事箇所	徳島市一宮町 (南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図 (9/16)		
縮尺	図示	図面番号	35 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

P11橋脚 補修図

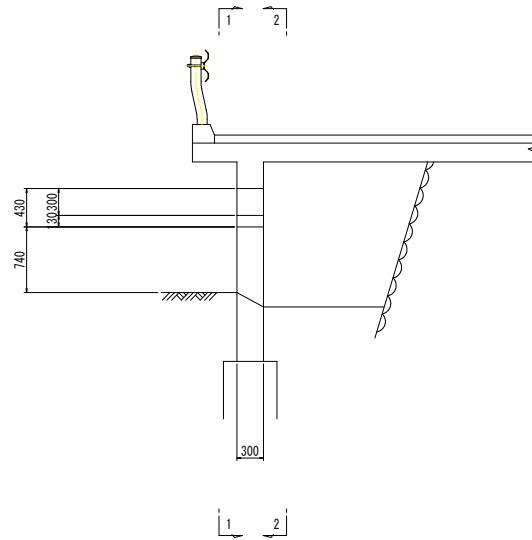
側面図

外側(1-1)

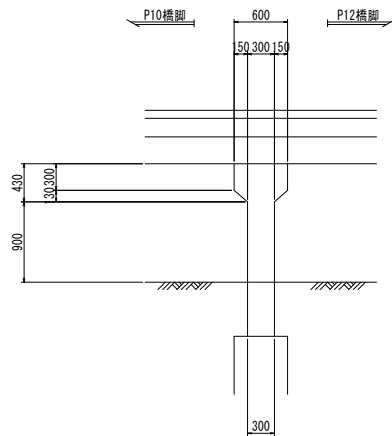


断面図

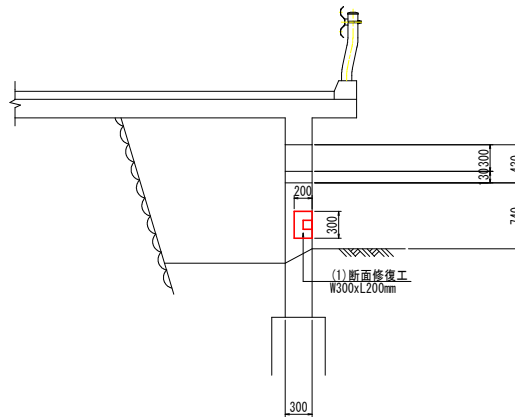
P10橋脚側(3-3)



内側(2-2)



P12橋脚側(4-4)

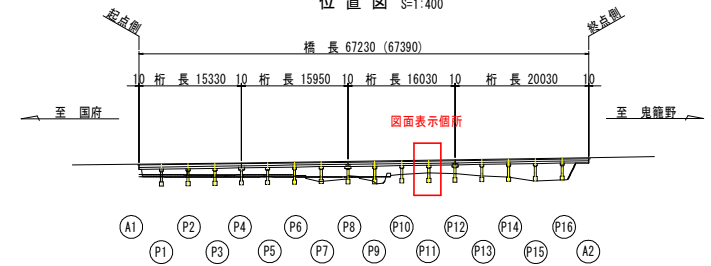


P11橋脚 断面修復工:A(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.30	0.20	0.05	0.003	柱部P12橋脚側
			合計	0.003	

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:400



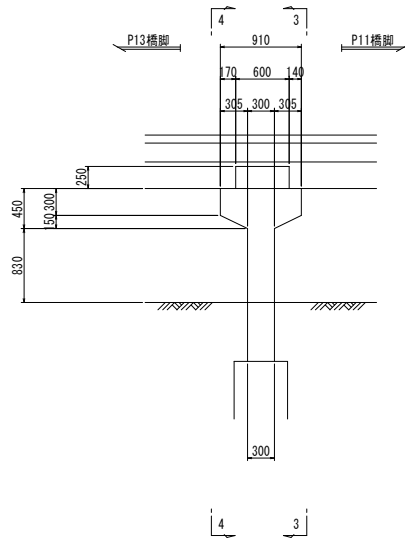
【実施設計図面】

工事名	R8修土 鬼籠野園府線(南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	鬼籠野園府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図(10/16)		
縮尺	図示	図面番号	36 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土木整備事務所		

P12橋脚 補修図

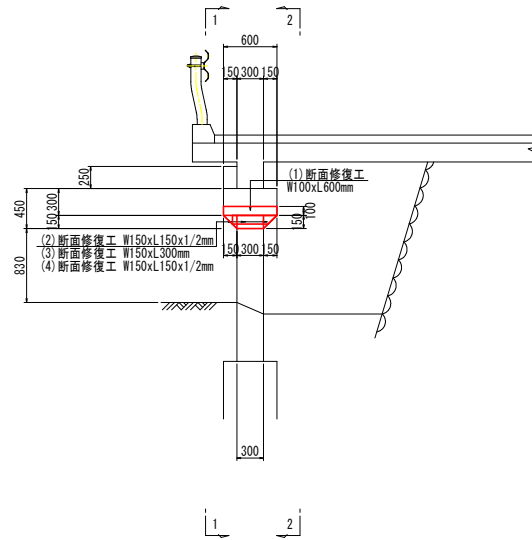
側面図

外側(1-1)

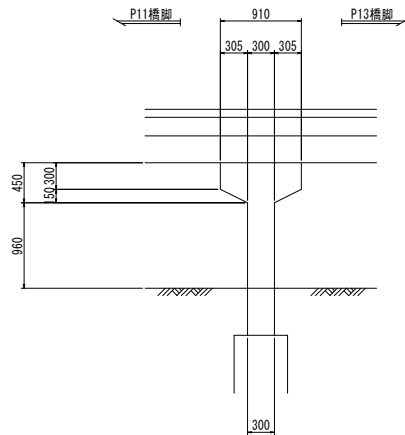


断面図

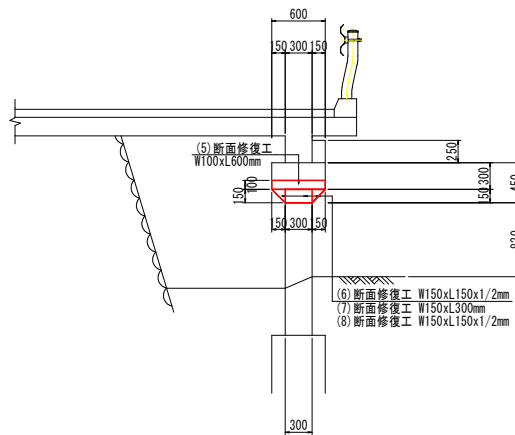
P11橋脚側(3-3)



内側(2-2)



P13橋脚側(4-4)



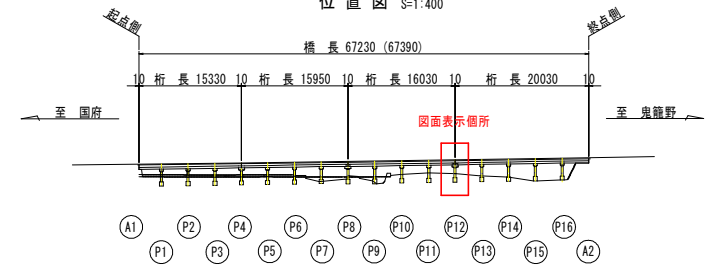
P12橋脚 断面修復工:A(左管工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.10	0.60	0.05	0.003	梁部P11橋脚側
(2)	0.15	0.15	0.05	0.001	梁部P11橋脚側※
(3)	0.15	0.30	0.05	0.002	梁部P11橋脚側
(4)	0.15	0.15	0.05	0.001	梁部P11橋脚側※
(5)	0.10	0.60	0.05	0.003	梁部P13橋脚側
(6)	0.15	0.15	0.05	0.001	梁部P13橋脚側※
(7)	0.15	0.30	0.05	0.002	梁部P13橋脚側
(8)	0.15	0.15	0.05	0.001	梁部P13橋脚側※
			合計	0.014	

※は、A=幅x長さx1/2

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:400



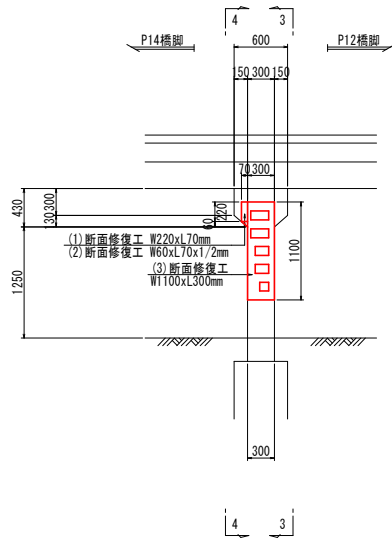
【実施設計図面】

工事名	R8橋土 鬼籠野南岸線(南丁棧道橋) 橋一宮 橋梁補修工事(企画)		
路線名等	鬼籠野南岸線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図(11/16)		
縮尺	図示	図面番号	37 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

P13橋脚 補修図

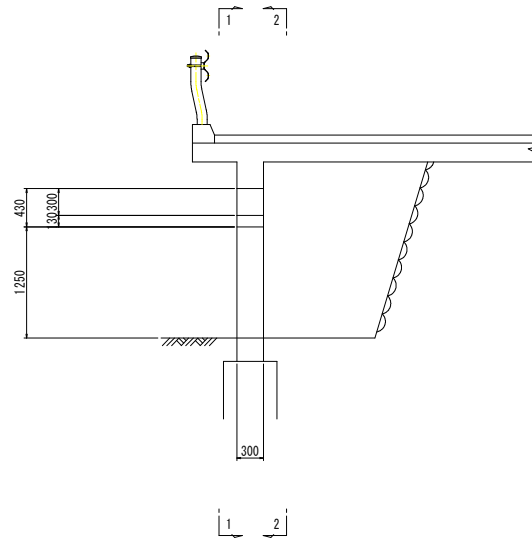
側面図

外側(1-1)

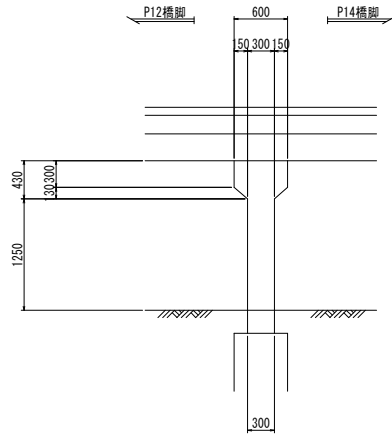


断面図

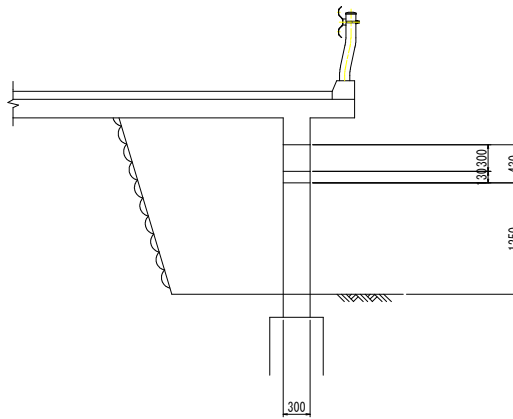
P12橋脚側(3-3)



内側(2-2)



P14橋脚側(4-4)



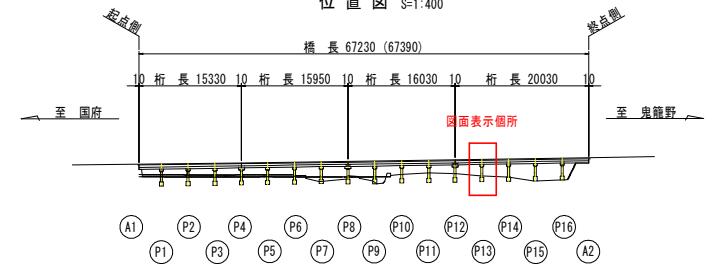
P13橋脚 断面修復工:A(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.22	0.07	0.05	0.001	梁部外側
(2)	0.06	0.70	0.05	0.001	梁部外側※
(3)	1.10	0.30	0.05	0.017	柱部外側
			合計	0.019	

※は、A=幅x長さx1/2

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:400



【実施設計図面】

工事名	R8修土 鬼籠野面府線(南丁棧道橋) 第一区 橋梁補修工事(企画)		
路線名等	鬼籠野面府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図(12/16)		
縮尺	図示	図面番号	38 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

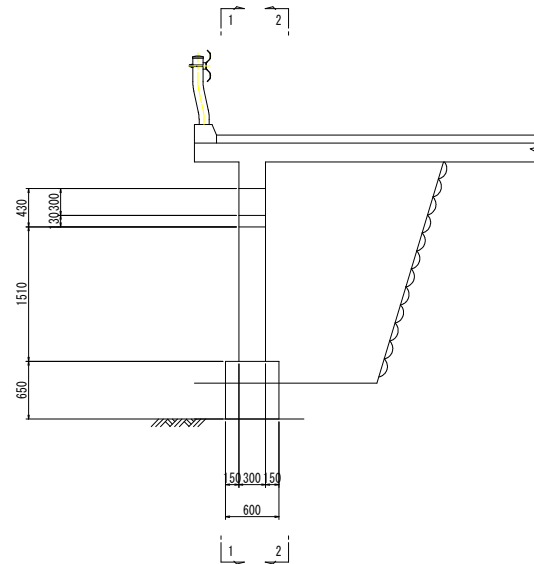
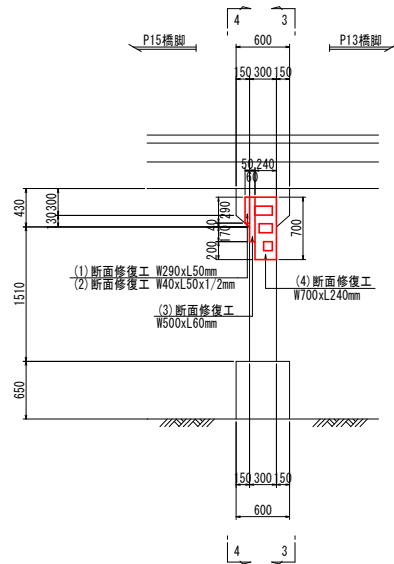
P14橋脚 補修図

側面図

断面図

外側(1-1)

P13橋脚側(3-3)



P14橋脚 断面修復工:A(左官工法)

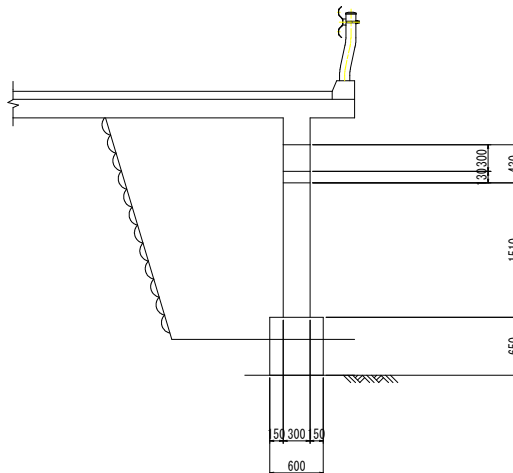
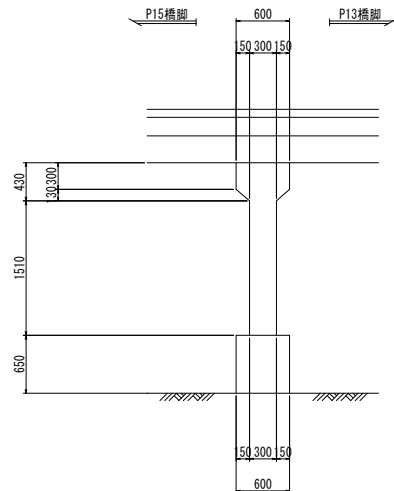
番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.29	0.05	0.05	0.001	梁部外側
(2)	0.04	0.05	0.05	0.001	梁部外側※
(3)	0.50	0.06	0.05	0.002	柱部外側
(4)	0.70	0.24	0.05	0.008	〃
			合計	0.012	

※は、A=幅x長さx1/2

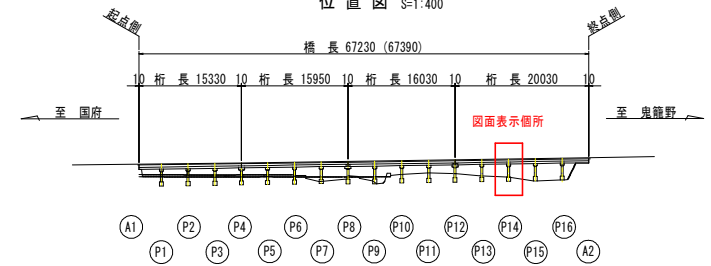
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

内側(2-2)

P15橋脚側(4-4)



位置図 S=1:400



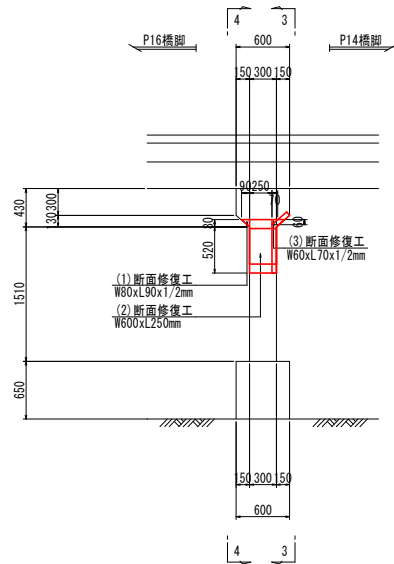
【実施設計図面】

工事名	R8修土 鬼籠野園府線(南丁棧道橋) 橋脚補修工事(企画)		
路線名等	鬼籠野園府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図(13/16)		
縮尺	図示	図面番号	39 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

P15橋脚 補修図

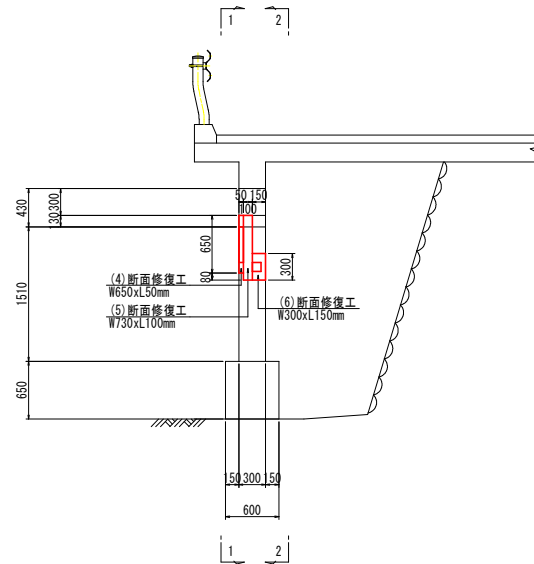
側面図

外側(1-1)

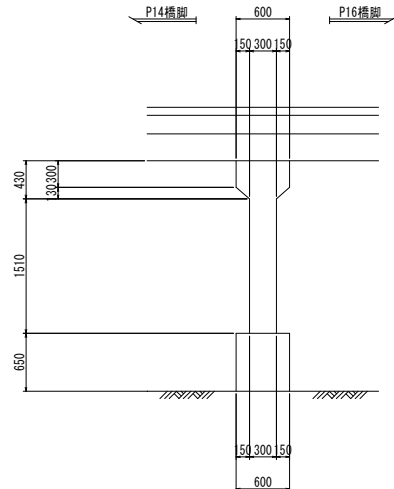


断面図

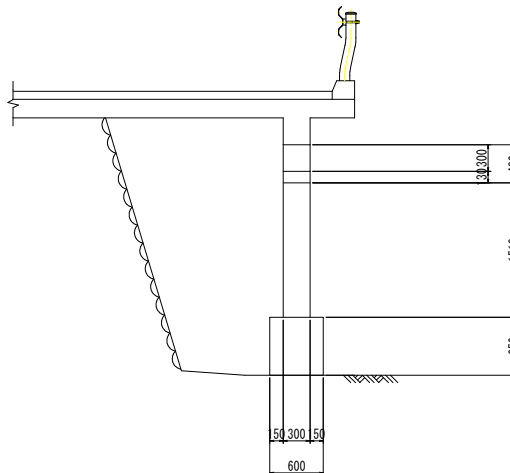
P14橋脚側(3-3)



内側(2-2)



P16橋脚側(4-4)



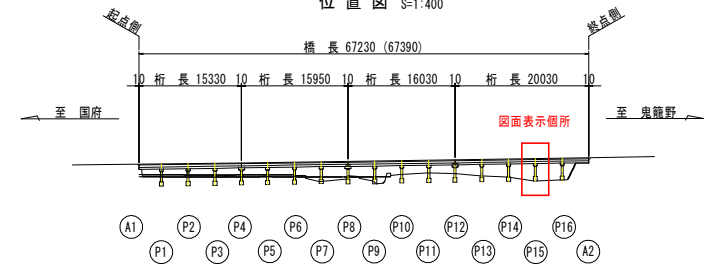
P15橋脚 断面修復工:A(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.08	0.09	0.05	0.001	梁部外側※
(2)	0.60	0.25	0.05	0.008	柱部外側
(3)	0.06	0.07	0.05	0.001	梁部外側※
(4)	0.65	0.50	0.05	0.016	柱部P15橋脚側
(5)	0.73	0.10	0.05	0.004	"
(6)	0.30	0.15	0.05	0.002	"
			合計	0.032	

※は、A=幅x長さx1/2

注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

位置図 S=1:400



【実施設計図面】

工事名	R8修土 鬼籠野園府線(南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	鬼籠野園府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図(14/16)		
縮尺	図示	図面番号	40 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

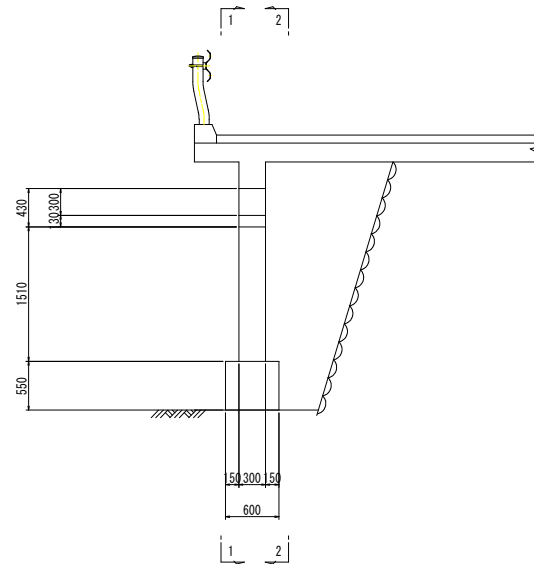
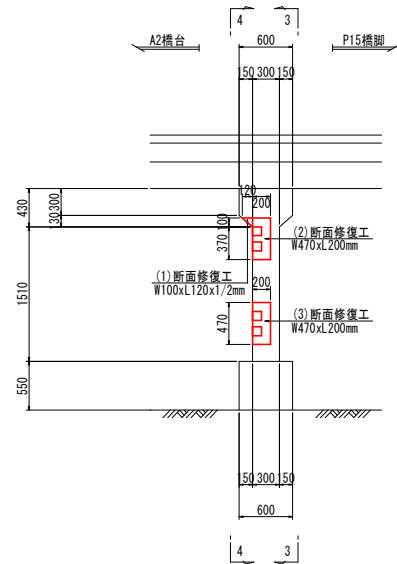
P16橋脚 補修図

側面図

断面図

外側(1-1)

P15橋脚側(3-3)



P16橋脚 断面修復工(A(左官工法))

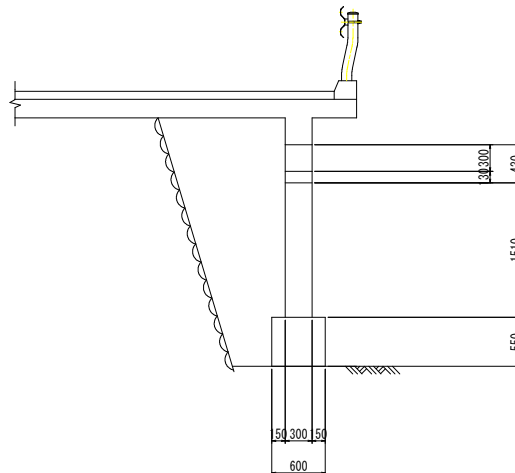
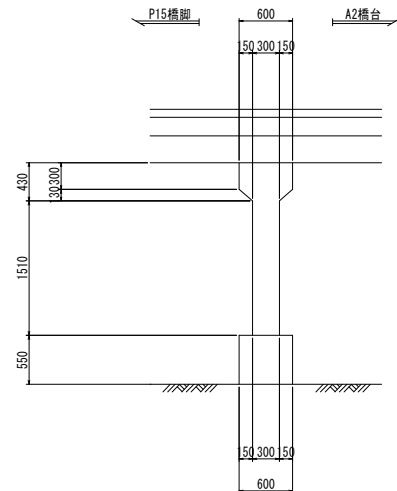
番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.10	0.12	0.05	0.001	梁部外側※
(2)	0.47	0.20	0.05	0.005	柱部外側
(3)	0.47	0.20	0.05	0.005	"
			合計	0.011	

※は、A=幅x長さx1/2

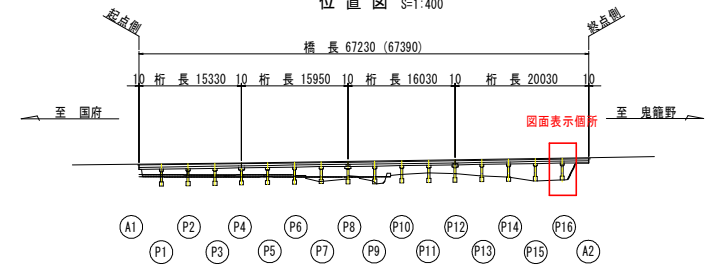
注) 数量は、ロス率を加味しない値である。

内側(2-2)

A2橋台側(4-4)



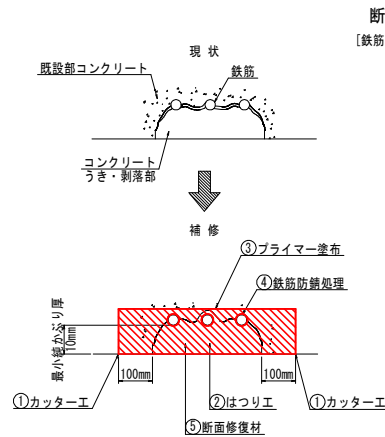
位置図 S=1:400



【実施設計図面】

工事名	R8修土 鬼籠野面府線(南丁棧道橋) 第一区 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	鬼籠野面府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図(15/16)		
縮尺	図示	図面番号	41 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

補修要領図 共通図



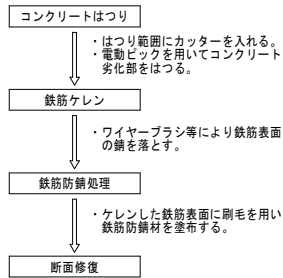
断面修復材量Vは下式より算出する。  
 $V=W \cdot L \cdot t \cdot 1.18$

ここに、  
V : 断面修復材量  
W : 修復幅  
L : 修復長  
t : 修復厚  
1.18 : ロス率

注記)

- 鉄筋構造物の断面修復材は、亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルを基本とする。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
- 修復厚さは、現場調査結果より、下部工・純かぶり30mm+主鉄筋φ20.6mm>50mmに設定している。
- 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
- 鉄筋構造物は鉄筋の裏側までではつることを原則とする。ただし、鉄筋の腐食状況等を確認した上、はつり厚さを変更する場合は協議を行い決定すること。
- 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

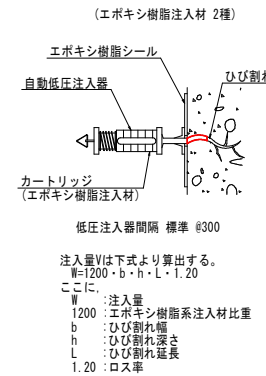
施工フロー図



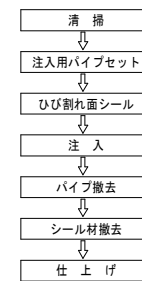
- 亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルをコテ塗りし、当初の形状に戻す。
- 1回の埋め戻し厚は、20~30mmを標準とし、下層モルタルが十分硬化したことを確認したうえで、次層のモルタルを塗り重ねる。
- 露出させた鉄筋の背面側には、断面修復材が回りにくいため、特に入念に埋め戻す必要がある。
- 断面修復厚さは、各部材で設定している。

ひび割れ補修工

[低圧注入工法]



施工フロー図



注記)

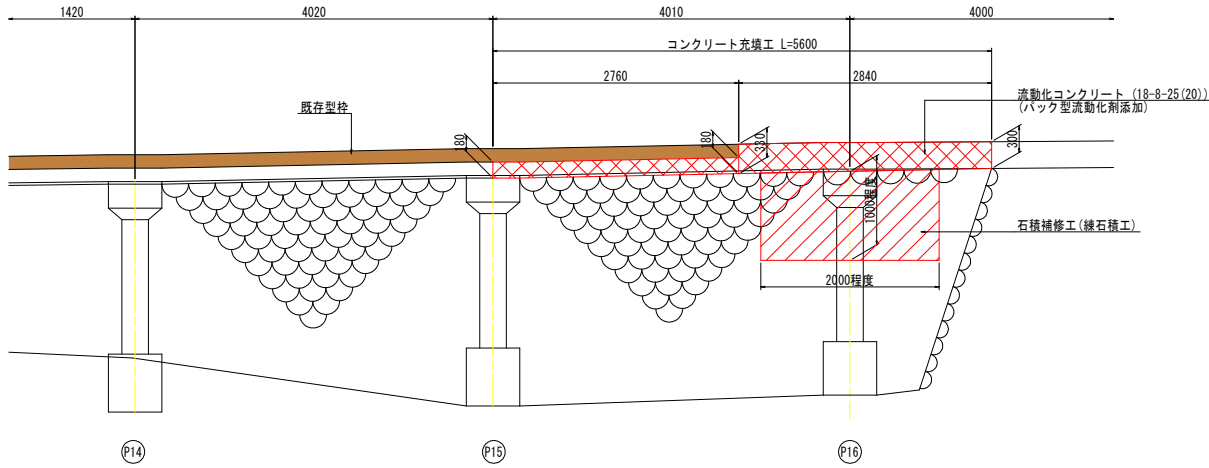
- 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行い決定すること。
- 注入工法の注入材は、エポキシ樹脂注入材2種を基本とする。ただし、施工性等から材料、種別等を変更する場合は協議を行い決定すること。
- 注入深さは、50mmに設定している。
- 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

【実施設計図面】

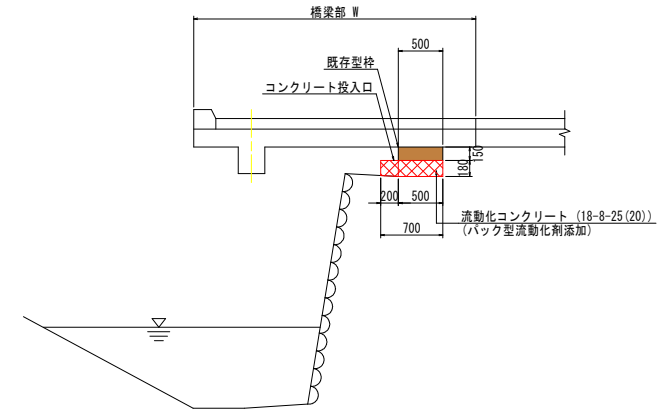
工事名	R8橋士 尾鷲野国府線(南丁棧道橋) 橋一宮 橋梁修繕工事(企画)		
路線名等	尾鷲野国府線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 下部工補修詳細図(16/16)		
縮尺	図示	図番番号	42 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

南丁棧道橋 石積工補修詳細図 S=1:30

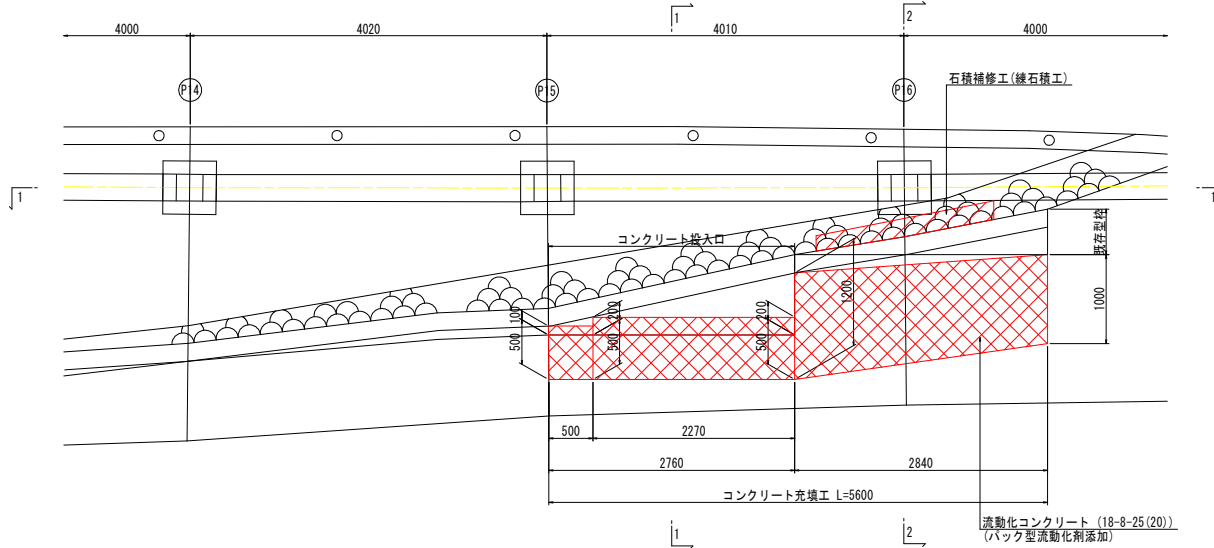
側面図(1-1)



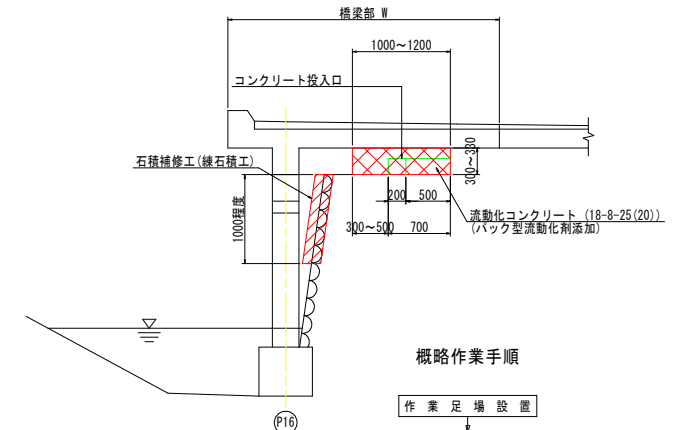
断面図(1-1)



平面図



断面図(2-2)



概略作業手順

- 作業足場設置
- ↓
- 石積補修工(練石積工) ・ 既存石積みの積み直し  
・ 人力、静的破砕剤で小割
- ↓
- 型枠工
- ↓
- コンクリート充填工 ・ 流動化コンクリート  
(バック型流動化剤添加)

注記)  
1. 既存石積が崩落している箇所は、コンクリートを充填する前に、積み直しを行うこと。  
2. 積み直す石が大きい場合は、人力若しくは静的破砕剤で小割にして積み直しを行うこと。

【実施設計図面】

工事名	R8修土 鹿嶋野原岸線(南丁棧道橋) 橋脚修繕工事(企画)		
路線名等	鹿嶋野原岸線		
工事箇所	徳島市一宮町(南丁棧道橋)		
図面名	南丁棧道橋 石積工補修詳細図		
縮尺	S=1:30	図面番号	43 / 43
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

注記)  
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。  
2. 寸法については、現場実測後決定すること。